京城日報

十月十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨講和覺書
―米大統領に致せる―

ウヰルソン大統領に電達される獨逸の講和覺書如左（アムステルダム電報）

獨逸政府は米國大統領ウヰルソン氏に對し平和恢復を引受け各交戰國に其旨を通達し且つ各交戰國に講和談判開始の爲め全權大使を送る可く勸説せられん事を要請す獨逸政府はウヰルソン氏の本年一月八日の國會に對する教書及び最近の陳述殊に九月二十七日の演説を講和交渉の基礎として右計畫に着手す可きを承認す獨逸政府は今後に於ける流血の慘事を避くる爲め此手段を執れり獨逸は陸海及び空中に於ける休戰を即時締結せん事を要請すマツクス、プリンツ、フオン、バアデン（署名）同電報は尚附加して土耳古も同様の手段を執らんとしつゝありと言へり

◇注目されし 米大統領對獨通告

ウヰルソン大統領は獨逸政府に通告して曰く『米國が休戰を討議するに先ち全獨逸軍は其侵入せる全領土より撤退せざる可らず』と（華盛頓電報）

◇決定的勝利を得ん爲め 日本歐露出兵再燃
聯合國外交會議開催か

英佛兩國に在りては獨逸の勢力愈〻衰微し來たりたるを以て近く決定的勝利を得んが爲め此際日本の歐露出兵を急とする論者少からざるが如く我出兵問題は再び聯合國の討議に上らんとするの形勢あり現に伊國首相オルランド氏の巴里行の如き差當り伊國戰線問題並に巴爾幹の情勢に對して打合せを爲すにあるは勿論なるべきも更に此機會に於て聯合軍の外交會議を開き日本出兵問題の如きも其重要議題たるべしとの説あり（東京特電）

◇總理代理に任命さるべき錢能訓氏

◇大總統に就任せし徐世昌氏

◇求和は敗戰の自白
刑罰の時期臻る＝米國の輿論

桑港來電＝獨墺兩國の講和提議は一般に敗戰の自白なりと看做され居れり獨逸は過去五十箇月間に亘り有らゆる人道の法則を無視したる後將に其刑罰を受くるの時期到來せるを自覺しウヰルソンと云ふ尊敬すべき名の下に保護を求めんとしつゝあり然れども米國大統領ウヰルソン氏は去る九月二十七日を以て獨逸の僞善的要求に答へたるが如く敵が吾等の領土上に在る限り種々の提議を爲すも何等の交渉をも爲す能はざるべし（東京特電）

◇英求和不接受

英國政府は六日夜に至るも獨逸の講和提議を接受せず從つて目下該提議に對し何等の行動をも執る能はずと（倫敦電報）

◇副總統豫選擧會

八日安福倶樂部に於て副總統の豫選擧會を開きたるが出席議員三百七十餘名曹錕氏三百四十八票を得たり（北京特電）

◇副總統選擧會流會か

十日の副總統選擧會は三百八十五名以上の出席すべく尤も研究會、討論會派の議員缺席すべき模樣あれば安福倶樂部議員全部（三百四十五名）出席するも流會の外無かる可し（北京特電）

◇總理辭任許可令

十日總統就任式當日段總理の辭職許可令發布され同時に錢能訓氏總理代理の任命令發布さる可し（北京特電）

◇段辭任國會通過

八日の國務會議に於て段總理辭職の件通過せるも他の閣員の進退は未定なり（北京特電）

◇三氏總理候補

朱啓鈐、汪大燮、田文烈の三氏總理として擬せられつゝあり（北京特電）

◇妥協計畫順序

徐世昌氏の南北妥協豫定計畫順序左の如し（北京特電）
（一）長江三督軍との協議（二）唐繼堯氏との協議（三）陸榮廷、岑春煊兩氏との協議（四）舊國會と交渉し、孫文派に對しては放任主義を執る事

◇李純倪嗣冲融和

中央の調停功を奏し李純氏對倪嗣冲氏との意思疎通したるを以て倪氏は留任すべし（北京特電）

◇首相山公訪問

原首相は九日午前十時十分山縣公を麹町五番町の邸に訪問し長時間會談の後午後零時十分辭去し直ちに永田町官邸に入れり（東京特電）

◇林公使首相訪問

林公使は九日午後二時卅分原首相を官邸に訪問對支外交問題に關し長時間協議する所ありたり（東京特電）

◇章士釗使命

廣東政府代表章士釗氏渡日の使命は軍政府承認問題及び支那の事情を日本の朝野に諒解せしむる爲めなりと（上海特電）

◇陸軍要路異動發表期

陸軍參謀次長陸軍次官並に第五師團長の更迭任命は既記の如く九日發表の豫定なりしも宮中の御都合に依り十日午前發表のことに決定せり（東京特電）

◇若松補缺選擧

既報柴四朗氏代議士失格に基づき若松市の衆議院議員補缺選擧は二十三日と決定せり（東京特電）

◇東京株昂騰

九日東京株式先物後場引値は東株百七十二圓九十錢同新株百三十八圓九十錢鐘紡株二百四十四圓九十錢滿鐵新株九十七圓九十錢郵船株百九十五圓なり（東京特電）

◇東京期米漸騰

九日東京期米市場は高値三十三圓四十錢安値三十二圓七十錢引値三十二圓七十五錢なり（東京特電）

◎軍事郵便規則

西伯利及び北滿と朝鮮との間に於て取扱ふ軍事郵便の件は府令第九十六號を以て十日發布されしが内容に付き富田通信課長は曰く西伯利及び北滿と朝鮮の間に於て取扱ふ軍事郵便の取扱は從來その據るべき規則不明瞭の點あるを以て今回之を明かにしたるものなり而して其要領は現行の朝鮮と内地臺灣樺太及び支那間の郵便規則中朝鮮を（關東都督府管内關東州租借地を除く）間に發送する郵便物に關する規定を準用する事となりたるものにて各種の取扱ひ料金等は十日より右の規定による事に定まりたる譯なり

◎普通學校規則中改正發布と内容

普通學校規則中改正の件は十一日府令を以て發布即日施行せらるべきが右改正の内容は朝鮮の現狀に於て普通學校兒童中年齡多く亦學力優秀なる者にしては其の學力に相當する學年に進級せしむるの途を開きたるものにて本令の改正は本人の利益のみならず學校の教育上にも利益砂からざるべし

◎平和も近き將來

倫敦九月上半の財況＝政府公債發行手控＝取引所活況

鮮銀倫敦派遣員水間美雄氏發鮮銀本店宛九月下半の倫敦金融狀況に曰く金融界は緊縮し英蘭銀行は五分の利率にて相當額を融通しコールは三分乃至三分三厘五毛を往來し一般に需要多きも出手少し銀行手形商業手形の割引率は變化なきも資金少きため取引少し各地取引所は活況を呈し銀行家は投機心を刺戟せざるやう注意しつゝありコンソル五九瞬平和も愈々近き將來に於て來るべき望みを以て英國政府は最早や巨額の軍事公債を發行せず（唯三月一日及び九月一日利息拂ひ一千九百二十三年並に一千九百二十八年償還の軍事五年一千九百二十三年並に一千九百二十八年償還の軍事債は三回繼續して發行すべき事を言明せり外國爲替は英國に有利に騰貴し巴里向二六、五アムステルダム向一〇、二五となれり

◎支那六鐵道借款
四千萬圓の前渡＝借款内容
鮮銀營業當局者談

▲借款成立　支那政府と日本の興業銀行臺灣銀行朝鮮銀行三行の間に支那鐵道借款成立の趣きは朝刊に東京電報として掲載したるが十日朝鮮銀行本店にも東京より入電あり右借款の内容條件等に付同行營業當局は曰く今回成立せし鐵道借款は久しき以前より支那政府と吾が本國との間に交渉を重ねたるが九月二十八日附を以て借款引受銀行と支那政府との間に豫備契約の成立を見たるなり

▲新線内容　借款の名目は滿蒙四鐵道及び濟順線高徐線の六鐵道借款となり居り線路の内譯は滿蒙四鐵道側に於て（一）洮南より熱河に至る鐵道（二）長春より洮南に達する鐵道（三）吉林より海龍を經て開原に至るもの（四）洮熱鐵道の一地點より海港に達するものにして大正二年十月日支協約により吾國より資金を供給して敷設するものにして濟順線が吾國の管理に歸したる山東鐵道の濟南より直隸省順徳に至る鐵道を稱し高徐線とは山東省高密より江蘇省徐州に至るものにして六鐵道の延長哩數は約一千五百哩なり

▲借款條件　成立せし六鐵道借款は豫備契約にして金貨を以て四千萬圓を前貸する事となり本契約は豫備契約調印後四ヶ月以内に本契約を成立せしむる事となり居れり利率は年八分期限は四十ケ年償還方法は十一ヶ年目より年賦償還を以て完濟する事となり居れるに付要するに支那政府は十一ヶ年目までに前記六線中の幾線かを建設し營業を開始する都合となり居るなるべし唯その途は未だ詳細の内容を知り得ず

▲資金調達　右六鐵道の建設資金として何程を要するかは確言し難きも一千四五百哩の鐵道とすれば少くも一億數千萬圓を必要とすべきか而して其の資金は政府の保證を受け得る日本興業銀行の債券發行等により之れを調達する事となるべし又目下の所豫備契約の調印者は興銀臺銀鮮銀の三行なれど資金の巨額を要する該資金投下事業の大規模なる點より見て素より三行のみの引受けとする性質のものには非ざるべく資金の調達に就ては東西有力銀行を以て組織せる對外投資團との間に協議進行中にある如し

◎米國領事通牒

京城駐劄米國總領事館は今回米國仕向貨物荷造用綿屑使用に關する下記の如き通牒を發したり『合衆國仕向貨物輸出業者は荷造りの際に入綿屑の使用を廢止せざるに於ては必ず其輸入を拒絶せられ若しくは輸入の條件として其消毒を要請せらることあるべし』と一般當業者の注意肝要なり

◎手形交換狀況

京城手形交換所に於ける客月中の小切手、手形、證券其他の交換高を聞くに各銀行合計交換枚數五萬三千九百六十三枚にして此の金額二千百四十萬五百五十八圓四十二錢を示せり而して之を前月に比すれば枚數に於て四百餘枚金額に於て七十一萬四千九百餘圓の孰れも增加を示し更に之を前年同月に對比すれば交換手形枚數に於て一萬四千六百餘枚、金額に於て九百七十四萬七千餘圓の增加を示せり而して當月中の一日平均交換高は手形枚數二千二百四十八枚此の平均金額八十九萬一千六百八十九圓九十三錢にして更に其の累計額に就いて見れば交換枚數十六萬一千六百八十八枚五千九百十三萬一千四百八十七圓五十六錢に達し居れりと

◎平元鐵道期成同盟會協議會

平元鐵道期成同盟會協議會は既報の如く九日午後五時より平壤在郷軍人會演武場に於て開催、元山よりは本田商議副會頭外五名鎭南浦よりは富田會頭外四名出席平壤側出席者を合せて四十名定刻に至るや大橋平壤商議會頭は座長として開會の辭を述べ終つて平壤の内田錄雄氏本間元山商議副會頭馬野鎭南浦商議書記長平壤松井民次郎氏等の演説あり最後に大橋座長は議案第一號として決議文草案を朗讀し滿場に諮りたるに西田元山毎日新聞社長右草案に修正の必要ありと述べたるを以て修正起草委員三名を選ぶ事に滿場一致にて可決し直ちに大橋座長は松井民次郎氏馬野書記長西田社長を委員に推薦して決議起草を諸したるに二十分餘にして案成り西田社長報告したる後大橋座長は久能書記長をして其の草案を朗讀せしめたるが決議文は『平元鐵道の敷設は我等十有餘年の懸案にして産業經濟發達の爲め並に國防上一刻も忽にす可からざる國家の急務なりと認む依つて本會は極力此が速成を期す』猶大橋座長は第二案として本決議の實行を計る爲め之が請願陳情書を内閣總理大臣、貴衆兩院議長、朝鮮總督、南滿洲鐵道會社總裁各政黨首領、有力代議士に對し提出する事本日の決議顛末を以上官憲の有力者に電報を以て通知する事を滿場に諮りたるに之れ又滿場一致可決更に二號の二案として内地同志者との聯絡を保ち時機を見て委員を上京せしむる事、又二號の第三案として元山鎭南浦、平壤の各地に各々議員三名を置く事を議決せり、斯くして午後六時閉會を告げ演武場に於ける記念撮影を爲し之より大同館に於ける歡迎會に臨みたり（平壤）

◎井戸川少將　平壤第三十九旅團長井戸川少將は岡田副官を隨へ十日朝入京巴城館へ投宿す

◎波多野氏用向　三井合名會社理事波多野承五郎氏は京義線金郊に於ける植林事業視察のため十日午後九時十分南大門驛著列車にて入京の豫定なるが金郊視察後の旅程は尚ほ不明の由なり

◎久保局長歸任　令姉不幸のため東上中なりし久保滿鐵京城管理局長は釜山に出張したる安藤運輸課長と同道十日午後九時十分南大門驛著列車にて歸任すべし

◎岡山學事視察團入京　岡山學事視察團一行二十二名は十日午前九時二十五分豫定の通り入京直ちにパゴダ公園に赴きたる後視察の上午後五時西大門倶樂部に於て弓削總督府學務課長の朝鮮教育に關する講演を聽きたり尚一行は十二日正午下仁一旦歸京の上夜行列車にて北行の途に就く筈

◎教員試驗開始　總督府並に京畿道外十二道に於て擧行さるべき小學校及び普通學校教員試驗は八日より各地一齊に施行したるが受驗者總數は三百二十六名なり

◎公州農校生徒訪府　公州公立農業學校生徒二十二名は同教諭原口良策氏外職員一行引率の下に十日午前總督府に赴き府内を參觀せり

人事消息

▲小岩井蝶造氏（總督府鐵務課技師）鑛業調査の爲め咸鏡南道管内へ出張を命ぜられ九日朝出發
▲田中三雄氏（總督府統計課事務官）全羅南道管内へ出張を命ぜられたるが十四日出發二十日歸任の筈
▲入江巻太郎氏（同技師）九日附十六日間の豫定にて東京へ出張を命ぜらる
▲扇越恭平氏（大日本麥酒社長）十日午後七時五十分南大門通過東上
▲[illegible]　九日夜大邱より著任
▲日下部一（銀行重役）十日朝退京内地へ
▲富田儀作氏（鎭南浦商議會頭）十日入京
▲[illegible]十郎氏（支那貿易視察員）一行五名と共に十日朝釜山上陸午前十時三十分發北行

茶前酒後

◆昨は墺匈國、土耳古、勃牙利を驪馬の如く繫ぎし、今は其驪馬に突かれて、悄然として和を軍門に乞はんとする獨帝。因果の小車は古今一轍、今も尚ほ回りて止まざる也。

◆獨逸の講和提議は、其動機の何れに在るにせよ、獨逸の愈々窮地に陷れるは、最早明々白々たる事實也。聯合國は、未だ急ぐべからず。平和の曙光は正に見われたり、伯林に於て、獨帝を面縛し得可きは、最早本年中と見て可也。

◆獨逸としては、今に至つて講和を提議するは、實に忍びざる處なるも、四圍の情況は、遂に彼をして止むを得ざらしむ。見よ、獨帝の顏に青筋あり、其目には怒りの涙あるべし。宛として垓下の項羽に似たらずや。

◆チエツク、スロヴアツクの總大將、マサリツク博士は曰く。昔時父君の枯骨を尋ねて四方を彷徨し計らずも王國を見出せしソーロの如く、西伯利の曠野を放浪せる我チエツク族は、其邦土を發見せり、と。言外の意、味はふべく考ふべし。

◆餓ゑたる人よ、街上に行け、其處には諸君の欲する肉あり。凍えたる人よ、街上に行け、其處には諸君の欲する毛皮の衣服多し。と堂々國民に追剝強盜を教唆せし、世界唯一の女大臣、露國コロンタイ夫人は、歐露ペンザ縣の片田舍にて、土地の修道院に自ら掠奪に出掛け、其儘百姓等に捕へられて、虐殺に遭へりと報ぜらる。露國は何處迄も面白き國と化せり。

◆今十日は、支那大總統の雙任式ありたる筈也。大總統は無論徐世昌也。而して同時に段總理の辭職許可、錢能訓の總理新任も敢て不思議に非ず。尚ほ今十日は、問題の副總統選擧日なるも、之れはまだ／＼ものに成らざるべく、流會は更に時局に紛糾を來すべきを證明す。

◇勝利は近きに在り

桑港來電＝佛國首相クレマンソー氏は議會に於て議員の質問に答へて曰く『勝利は今や近きに在り』と（東京特電）

◇英米軍戰線攻擊

英米軍は八日朝サンカンタンよりカンブレーに到る戰線を攻擊し滿足に進出せり（倫敦電報）

◇勞働省組織布告

獨逸皇帝は中央官廳として宰相に直屬し社會的、政治的事件を管理すべき勞働省の組織を布告せり（アムステルダム電報）

◇英米兩軍西進

浦鹽來電＝從來沿海州に在りし英國並に米國軍は九月三十日及び十月一日ニコリスクを出發哈爾賓を經て西進し歐露に於る排獨並に東部線攻擊の途に就けり（東京特電）

◇伊太利汽船入浦

伊國汽船二隻は兵員を滿載し九月末浦鹽に入港せり（哈爾賓電報）

○商業登記

株式會社平安農工銀行ハ大正七年拾月壹日株式會社朝鮮殖産銀行ノ成立ニ因リ解散シタリ

[illegible]

黄海道海州地方法院沙里院出張所

登記公告

金川金融組合登記事項中變更○出資一口ノ金額拾圓
右大正七年十月九日登記
黄海道海州地方法院金川出張所

藥草栽培
畑一段歩千圓もあがる
◇◇庭の片隅からでも大金が儲かる

目下日本政府が奬勵金を下附して盛んに奬勵してゐる各種藥草の栽培は地方部村の福音である。藥草栽培は骨が折れず樂みが多く然も多大の收入あり中には畑一反歩から一收穫に千圓近くの收益を上げてゐるものもあるそれだから一坪の土地でも利用すればよき副業内職となる。殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取て賣れば大金が儲かる。又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば無資本で一ヶ月五十圓内外の利益を得る事も出來る。其の栽培法、採取法、販賣法等は東京神田裏神保町日本藥草研究會發行の講義錄を見ろが一番よい同會の會員には賣開保證、藥草共同販賣等の特典もある會則及講義錄見本は同會宛ハガキにて申込次第進呈する（至急を要す）

西伯利從軍記

▽活動寫眞のやうな列車追撃戰

車輪からは火花を散らして

舞臺は一望際涯なき黒龍州平野 砲彈を冒して進むその壯快さ!!!

當時の前兵列車長……大島少佐は語る

從軍記者 金谷眞

ハバロフスク占領以來の我軍は如何にして黒龍鐵道線の敵を追撃したか當時の前兵列車長たりし歩兵第〇〇聯隊の第〇大隊長大島少佐はアレキセーフスカヤの列車中にて語る『あの時の敵を追ふ列車は恰度活動寫眞のやうでした、敵の列車との距離は約八百米突あのアルハラの附近の一望千里の原を驀地に急追する列車の武者振り、窓から首を出して見ると双方の車輪から火花を吹いてその壯觀は何とも云へませんでした……』と少佐のはなしは猛烈な當時の汽車追撃を想像させた、ハバロフスクを出てからの談こいふのは斯うである

▽打突ける覺悟で

萬歲聲裡に出發 前進又前進

『われ〱の第〇〇旅團がハバロフスクから第一線に立つと聞いた時兵士は擧つて萬歲を叫んで歡喜した、驛にはわれもわれもと押しかけた鮨詰のやうな列車があつたが何うか斯うかして列車縱隊の編成を了り豫定の如く十二日朝八時出發することゝなつた

★徒歩を立前 こする わが歩兵隊も列車では聊か樣子が異ふが兎に角汽車の尖兵、前衛本隊などが出來て私はその尖兵列車長となつたのである、而して最先頭の列車には機關銃、狙擊砲、等を乘せて車の前後には各一臺の汽罐車をくつつけまさかの時は

★敵の列車に ぶつゝける覺悟で出發したのであつた、自分の後の三番目の列車には〇〇旅團長に〇〇聯隊長があり斯くして列車は堂々とハバロフスクを出發したのであつた、驛には

★大井師團長 閣下も見送られ萬歲聲裡に出發した時は壯快の限りであつた、列車は名に負ふ黒龍鐵橋を渡り森を越て第一日の夜は紅葉の錦眼もあやなるビラの停車場まで前進した、列車の前方には警戒兵を出し兵士はそれ〲炊爨をしたが考へて見るとこゝ邊ではまでは仕方がない、危險があらうと彈丸が降らうと夜中でも前進せよといふので十三日の未明午前三時に再び出發した、最先頭の汽罐車では

★乘組の露人 が鬪つて居るやうだつたがそれでもドシ〱前進を續けた、すると列車は黒龍江の山中キムカン驛に來て不圖隧道の故障に會つた、敵はわが軍の前進を阻む爲めに列車を中で破壞してゐるので修理に暇取るといふのであつた、われ等は先づ停車場の電信機を取押へた上線路の開通を待つてゐると土地の露人は頻りに此の前方に四五十人の敵が居るこいふて來る、それではこいふので

★將校斥候を 出して見たが支隊長は氣が氣でない聞けば黒龍江を溯航したわが野瀨支隊はグン〱前進したのに鐵道がこれで何うなるかと非常に焦慮て居られた、著いたのは午前八時であるのに十一時になつてもまだ出來ず午後の三時までかゝるといふ、それも鐵道隊が大努力して左樣であるから仕方がない、其處で自分は部下の大隊を總て下車せしめ米軍の一個中隊も引つれて徒歩で嶮を越たのであつた、而して漸く

★山また山の オブルツェ驛に到著した、土人に聞けば敵はその日自分等の到著した五時間ほど前に最後の列車が出たこいふことであつた

▽突然敵の砲彈が

我列車の四邊に飛んで來た

惜しい處で長蛇を逸す、釜は破れても構はぬ急げ〱!!!

見れば構内の機關車には機關車も貨車もある、これならば新にわが一個大隊で臨時編成をやらうこいふので愈々其の準備に取りかゝつた、するこ驛の電信係の露人が周章しくやつて來て訴へるには『たゞ今次の驛の敵が電信を打ち機關車を二臺

★直ぐ逃れこ 言うて來ましたが何うしませうか……』こいふ、諾!!それでは『準備出來次第早速逃るこ返辭せよ』こ指圖した、愈十三日の夜九時オブルツェを出發した、折から騎兵第〇〇聯隊の兒島中隊も尖兵列車と同行することゝなり夜半十二時過ぎクンツール驛に著いた、その時敵は僅に卅分前に出發したこいふとであつた此の時後方の旅團司令部に通信せんこするけれども電話すら不通こなり唯だ

★前進する外 はなかつた、斯くて十四日の午前一時半深夜を冒して再び前進した、敵に接近するのも遠くはあるまい、早く全速力を出せこ命ずるこ釜を焚き過ぎたこ見ゑて車輪からはパッ〱!!!こ火花を散らして駛り出した、其の間二三の隧道を過ぎた、そんな時には必ず監視兵は下車したりなごするので幾らか時間を要したが兎に角黎明の午前四時頃ウリール驛に接近したのであつた、するこ兎ある線路のカーブに來た一刹那

★突如四五發 の砲彈が飛んで列車の四方に炸裂した、察するに敵は此のカーブを目標こしてゐたものらしい、敵の裝甲列つた

▽地雷に懸つて

汽罐車は跳ね飛ばされた

八百米突の近距離に迫つた時 敵はドン〱撃つては北げた

かくて午前五時廿分アルハラ驛附近に進んだ頃には双方の距離僅に八百米突、敵味方の機關銃は猛烈にバタ〱こ咆哮しはじめた、最先頭の〇〇大尉は猛然こして進む見れば一望際涯なき黒龍州の平野に一條の軌道を沿うて驀進する双方の列車!!!實に活動寫眞の

★フィルムも 及ばぬ 壯觀であつた、半時間過ぎてアルハラ驛も間近くなつた、敵は愈追付かれるばかりこなつた、後から續く自分等は今か今かこ手に汗を握りつゝある途端、突如わが〇〇大尉の汽罐車は飛上がつたまゝ横樣に倒れた『しまつた!!!やられたか!!!』こ思ふうちパッこ立のぼる黒煙は列車を包むで

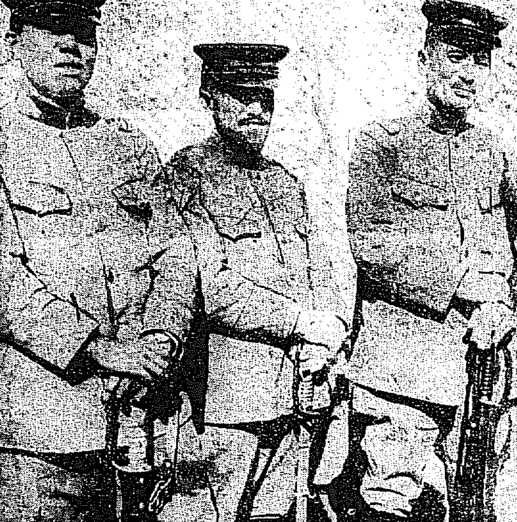
★敵の砲彈は ドドドド〱!!!と五六發雨下した、自分等の列車も亦止むなく其處に下車して遂に長蛇を逸して了つた、敵はそれからドン〱ドン〱撃つ車には六吋砲二門、三吋砲二門及び機關銃を載せてゐる、『こん畜生!!!モウ斯うなつたら逃すものか!!!』こ一同雀躍して勇み立ち汽罐車の釜は破れても構はぬ早く〱こいふので何れも飛ぶやうな全速力で走りはじめた、敵も車上から撃つ味方も撃つ、双方

★射撃を交換 しつゝ走れば未だ明けやらぬ空に砲聲が轟ろき實に壯絶快絶の戰鬪であつた、われ等は遂に最後の隧道を通過した、敵は愈々苦しくなつて急に立ち停まつては撃ち停つては撃つては北げた、大隊は徒歩のまゝ十四日の夜九時過ぎアルハラ驛を占領した、自分はまた新しい列車の編成に取りかゝつた、汽罐車二臺を仕立て、更に前面の敵を逐ふべく用意したが何分驛の附近には住民が居ない

★過激派に荒 された あとで何もない、ぐ〱歩兵列車は十四日の午後三時半出發した、自分等はその時プレーヤ河の大鐵橋が心配でならぬ、あれを敵にやられては大變だこ思ひ更にまた息もつかせず敵を追うた、愈主力が出かけて行くこ前方からドミカン驛の橋梁をやられたこの通報があつた、其處で歩兵はまた〱徒歩行軍

★〇〇旅團長 も十時過ぎに此處に著せられた、此處から第一線は他所の隊に讓ることゝなつたが將校斥候は更にプレーヤ河の對岸まで前進することゝなつた、プレーヤ河では道に迷ふやら食糧の缺乏に窮するやらで行軍はなか〱困難であつた、何分二個中隊の軍が行くので、食物なごもなか〱無い、プレーヤ河畔の村民は過激派に荒された後なので大いに

★我軍を歡迎 して與れた、更にザビタイヤ驛に進むこ大いに士氣が揚がつた、同地には一人の邦人が居て出迎へたのは珍らしかつた、それから自分等は十八日午後ボチャレオ（ブラゴエへの分岐點）に著き翌十九日愈アレキセーフスカヤに著いた』



◇列車で敵を追うた勇士……向つて右は步兵第〇〇〇聯隊第〇大隊長大島少佐中央は敵の地雷火で汽罐車を跳飛ばされ九死に一生を得た櫻井大尉、左は大隊副官宮川中尉（アレキセーフスカヤにて金谷從軍記者撮影）

◎王世子殿下 演習に御參加

李王世子垠殿下は近衞師團第二聯隊演習の爲め九日習志野へ赴かせらる（東京特電）

◎東淸罷業全く終熄す

東淸鐵道從業員の同盟罷業は全く終熄せり（長春電報）

◎滿洲里は積雪一尺

滿洲里に於ては去月末再び雪を見積むこと一尺餘戰ひに踏み躙られたる野も山も全く銀色と變じ頗る美觀なりとそれに付けても彼の地に活動しつゝある我將士等後の苦痛も一層思ひやらる（哈爾賓）

◎平野丸 積荷こ船歷

遭難せる日本郵船平野丸は日本及び東洋向積荷として船鐵、鐵類、綿製品、毛織品、曹達、機械類等を積んで居た、同船は長崎三菱造船所で建造し明治四十一年四月廿八日に進水し總噸數七千九百卅五噸で進水以來歐洲航路に從ひ今回で二十二回目である八阪丸や鹿島丸香取丸などに次ぐ新式の同社所有の上等船である、歐洲戰亂以來同社で擊沈された船は大正四年十二月二十四日（?）地中海でやられた八阪丸（總噸數一萬二千噸）が魁で次に宮崎丸（八千噸）常陸丸（六千五百噸）德山丸（七千噸）と今回の平野丸を合せて五隻である（東京）

◎米騷動起訴 約七千名 司法省の發表

米騷動に關する起訴者總數六千八百五十人に達せる旨九日司法省より發表せられたり（東京特電）

◎文展の推薦 石橋和訓畫伯

洋畫『某氏の家族』『松方侯肖像』の二點を文展に出品したる石橋和訓氏は八日推薦と決せり（東京特電）

◎平南の獻金者

九月十一日以降平安南道に於る恤兵金寄附者中主なるもの左の如し ▲二十圓 崔允復、車昌鎬 ▲五百圓 李敬植 ▲百圓 崔允柴、金貞禹、同青境誰外十一名にして總額千二十五圓

◎休戰提議は無碍には斷るまい

然うかと云つて容れたら聯合國五箇年の苦戰も水の泡

獨墺土の三國が聯合側に對して休戰を申込めるに就て責任ある當局者は觀測して曰く『獨墺側が休戰を申込んだと云ふことに就てはまだ公報がないから

◇確り したことは判らんが獨墺側には有さうなことである、若しこれが事實であつて休戰となり直ちに講和にでもなることなれば獨墺側は今回の大戰には大勝利となる譯である、即ち歐洲中央に於ける獨逸の勢力は領土に於ても權勢に於ても非常なものである、特に露西亞が單獨講和をしてからと云ふものは露西亞に扶殖された獨逸の勢力は甚しく著大なものである、假へ

◇平和 會議に依つて土地は自由にさせないとしても西部並びに東部に於ける獨逸の權勢は消滅するものではない、故に講和が早ければ早い丈け獨墺側の利益である、然れども此問題を聯合國側は無暗に斷るやうなことはしない代りに此の獨墺側の希望を容れるやうなこともなからうと思ふ若し此の獨墺側の希望を容るゝとなれば

◇獨墺 側に對して名を成さしむるのみであつて聯合國は五ケ年間の苦戰は何を目的として居たか全く判らなくなつてしまうから決して左樣こともあるまい、又獨逸こしても只今まで連戰連勝の好況を博して居ながら戰前の勢力或はそれ以下の勢力に成下つてまでも講和をする樣なこともあるまい兎に角當分の間は非常の好見物である』（東京）

◎女に化けた脫走兵 永柔で逮捕

六日夕刊三面所報步兵第七十七聯隊第二中隊の逃亡兵井上廣吉は七日午後九時頃周衣を著し鮮婦人の頭髮を包むスーゴンと云ふ布を以て頭部を包み異樣の姿にて逃げ行く所を永柔憲兵分遣所の佐々木軍曹、兵上等兵に逮捕せられ平壤憲兵分隊に押送せられたるが本人は平素素行修まらざるのみか入營前窃盜の前科二犯を有する惡漢にして逃走の際被服及び雜品等は路傍に放棄し鮮人の衣類を竊取したることを自白したるが何故逃亡したりやその訊問に對してはあんな窮屈な隊に居るよりも監獄に入る方が餘程よいと放言したりと

◎四萬五千圓の礦石を積んだ發動機船遭難?

統營久原金鑛にては鑛石九十萬斤價格四萬五千圓を石油發動機船大寶丸に積込み同船は四日統營發鎭海に向ひしに九日迄入港せざるより目下各所に照會搜索中也（馬山特電）

◎列車大延著

新義州より南行列車は十日朝八時南大門に到著すべきに三時三十分間の大延著を爲したるが八時四十分南大門を發すべき釜山行列車は定刻に特發せり

◎成歡戰死者祭

京釜線成歡戰蹟保存會主催となり來る十七日午前十一時より松崎大尉記念碑前に於て成歡役戰死者祭典を盛大に擧行する筈なるが當日は餘興こして素人相撲、手踊、自轉車競爭等の催しあるべし（成歡）

◎伊兵我警官を傷く 天津日本租界の出來事

某所著電＝八日天津日本租界にて伊太利兵暴行し是を取鎭めたる日本警官數名は重輕傷を負ひ中六名を捕縛せるに多數の伊國兵之れを取返さんとして不穩の兆ありしより伊國官憲に此旨通告し解散せしめたり（東京特電）

大掃除

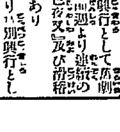
＝十一日＝ 施行區域左の如し 新町、本町五丁目、[illegible]町、東四軒町、西四軒町、黃金町六七丁目、光熙町一二丁目

◎書畫展覽會

京城本町二丁目淸雅堂にては開業滿一周年自祝の爲め東都畫家の揮毫に係る書畫約二百餘點を十二日（午後十二時半より五時迄）十三日（午前九時より午後五時迄）南山本願寺に於て展覽會を開催する事こなれり

◎女子普通同窓會

京城女子普通學校にては來る十七日午後一時より同窓會を開催し當日は本社龍山涙光氏の講演その他面白き餘興等ある由



▲大正館 は十一日より別興行として[illegible]『猿塚』四週より連續の『綜合色夜叉』及び滑稽寫眞等あり

▲黃金館 は十一日より特別興行として新劇『[illegible]』『文姬』と『將軍太郎』新派劇『輪廻の紂』洋劇『タターミ』其他滑稽寫眞を上場すべし

▲壽座 は中島浪花敬吉一座にて開演中

◎川北電氣企業社

大阪堂島に本社を有する資本金三百萬圓の川北電氣企業社は鮮滿に於ける電氣業界の發展に伴ひ今回京城明治町二丁目に販賣所を開始し[illegible] 電動機 無砂精麥機の發賣をなしつゝあり

救世軍十年記念

朝鮮の救世軍本營では十一日を以て恰も創設十周年に相當するので同日午前記念式を擧行する上は救世軍本營下は司令官フレンチ大佐

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店 帝國火災保險株式會社京城代理店 大阪海上火災保險株式會社 つちやたび 並ニいろはたび 朝鮮代理店
貿易雜貨商 京城本町三丁目 藤富國太郎商店 電話三〇八番 振替京城一七八番

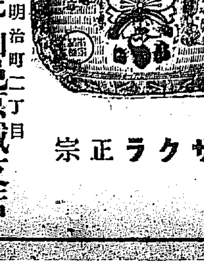
淋病內服藥 Gonothyl ゴノチール
極メテ合理的ニ創製セラレ最卓越セル治淋劑トシテ益々[illegible]ニ賞讚セラル
一瓶 三十球入 六十球入 百球入
發賣元 大阪市道修町 西村藥林社
◎各地有名藥店ニアリ

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、寒天、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙類、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋其他の日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店 仁川本町 河野本店 電話二八番 振替京城一二一番

陸軍藥劑官勳六等川瀨氏鑑製 胃腸藥 下痢止 ゲンノショウコ越幾斯
一瓶（凡十日分）六拾錢 一瓶（廿五日分）壹圓拾錢 卅五日分壹圓六拾錢 送料貳錢
本劑は下痢症に確妙の効驗ある一般の認知する所にして今や各病院諸大醫諸君に於て賞用せられ實驗上多くの同病者に服藥せしめたる結果有効確實最早一點の疑を入るゝの餘地なきに至れり
適應症 ●慢性下痢●急性下痢●胃腸加答兒●食傷●水傷●冷腹等より起る下痢症●時候あたり●朝鮮赤痢●婦人にては子宮病に內膜炎
本劑を常に服用すれば胃腸を健全にし赤痢コレラ病等の時期には家庭に缺くべからざる常備藥なり
一手發賣元 朝鮮京城府若草町 東洋藥房 電話三二八番 振替四二九九番
御注文は現金の規定なるも御希望に依り代金引替をも賭す

內科 眼科 小兒科 京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前） 本田醫院 院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院 入院隨意 肛門病諸痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵劵二錢要 電話二四四三番 振替京城三三二八番

宮內省御用達 兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造 サクラ正宗



櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五番

資本金六百萬圓 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇、五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候 ●右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

◎女房の災難 九月卅日午[illegible]合せたる榮山浦在住代書人青木某一名のみ憲兵隊に引致され目下取調中なり

[illegible]郡酒田字嵌小路折田命藏三男[illegible]を迂路〱してゐたる所を巡官に[illegible]幸次（二二）は大膽にも叔父なる本間[illegible]

仁川期米 後場中限 前二十八圓 十五錢 [illegible]

仁川米豆取引 十日の十一月限

天 曇

[illegible]せ下らんこしたるに車は前進の爲め急速度に驅下りアハヤご云ふ間もなく擬器小屋を突破り折しも居[illegible]受け漸く蘇生したるも其後の經過面白からず生命覺束なからんこ[illegible]ほ仲仕の內二人は其場より逃亡し見習中なる主の甥に當る山形縣[illegible]

長者で途方に暮る

[illegible]横濱住吉町一藥種商本間方に雇役[illegible]着に着し大連より哈爾賓に行かんこせしも懷中には二圓六錢を餘すのみこなり途方に暮れて長春驛前[illegible]

牛皮の改良法（一）

獸醫 矢野 牧平（寄）

朝鮮に於ける牛皮は米穀ご共に輸移出品中の主要を占むる重要物產なり然るに米穀其他の輸移出品にありては何れも急速の改良をなしに至りては當局の奬勵あるにも拘らず獨り牛皮は昔日の比にあらざるも依然舊態を脫せず甚だ遺憾の至りなり今や宇內擧げて戰時の狀態にあり皮革の需要頗る多きに拘らず朝鮮牛皮の需要さるゝもの少く山東牛皮頗々こして使用せらるゝ有樣なるが之鮮牛皮は品質粗惡にして未だ製造法の改良せられざる所以なり斯くの如き狀況なるも當業者未だ覺醒せざるは寧ろ奇怪事こ謂はざる可らず苟くも意を地方產業の啓發に注ぎ農家の福利を增進せんこせば牛皮改良の如きは蹔し一日も忽にす可らざるなり

先製皮の改良より

牛皮の理想的改良に至りては固より一朝一夕に能くする所にあらず即ち斉牛の改良使役器具の改善を俟つて始めて之れが根本的の改良を期すべしこ雖もこは到底急速に望むべからず今玆に改良を施し其端緒を得んこするは主こして製皮の方法なりこす今朝鮮各地に行はれつゝある製皮の方法を見るに頗る不完全且つ幼稚にして些の改良進步を認めず之れが缺點を指摘すれば左の如し

（一）剝皮（二）器具（三）洗皮（四）施鹽法（五）乾燥法（六）仕上法（七）貯藏及び荷造法の何れも不完全

是等は製皮上最も重要なる點なれば學理上及び實驗上相當設備を施し一大改良をなし牛皮の聲價を向上せしむ可し

改良鹽乾皮製法（上）

◆（一）屠殺室 屠殺に際し屠畜構造（地盤）不完全なる爲往々皮に損傷を與ふることあり屠殺者は充分なる注意を以て損傷を起さゞる樣なすべし（二）剝皮法 從來の剝皮は甚だ不完全不整調なるものあり即ち剝皮に際し中心よりせざるが爲其形狀不整なりされば剝皮は凡て背を中心として左右等分なるを要す就中注意すべきは頭部及び四肢の剝皮なり頭部につきて見るに耳目鼻に至るまで悉く之を附し或は頭部は殆ど附せざるものあり頭部は以上の耳目鼻を除ぐの外可成面積を廣くするを利益なりこす四肢に見るに或は中央關節より切斷するものあり或は蹄を附するものあるも蹄際より切落すをよしこす其他尾を切斷せざるものあるも之れ無用のものなり所の如く耳目鼻蹄尾の附著せるは皮革業者の手數を加ふるのみならず之れが賣買にも一割乃至一割五分重量を減ぜらるゝを常こすされば價格の上より見るも却て不利益なり其他肩及び臀皮を深く切落すものあるも斯の如きは不可なり要は不要なる點は凡て之れを切り捨て面積を可及的廣く坪數の大ならんことを期すべし（三）剝皮器具 剝皮刀の不完全より生ずる刀痕は鞍痕こ共に皮革業者の最も忌む所にして特に朝鮮牛皮に多し鞍痕蚤痕は製皮者の奈何こもする能はざる所なれども刀痕に至りては充分の注意を拂ひて剝取せざる可からず甚だしきものに至りては縱橫一面の刀痕あるが爲め大いに其價を傷くることあり刀痕につきては取引慣習こして一大刀痕あるものは一等級を下し一刀痕五六十錢の値下げをなすものなり以て刀痕の如何に忌まるゝかを知る可し其他肉片脂肪の附著するもの又良しからず之れ等は剝皮者の不注意並に剝皮刀の不完全に基くものなれば充分の注意を加ふると同時に刀は蒲形の丹及刀を使用すべし

◎新邱の炭田

撫順と伯仲す

世界的石炭の需用膨大したる結果大小の炭坑競うて採掘を開始すべき氣運を誘ひ滿蒙各地に散在せる炭坑の如き殆んご手を付けざるなきに至り而も採掘に着手せるものは相當の成績を擧げつゝあり過日遂げたる新邱炭坑は

◆表面は支合辦の形式を標榜し居るも事實は滿鐵の經營に屬し目下着々進捗の域にあり同炭坑は錦川を去る事百四十淸里（日本里二十三里强）の地點にあり炭質に於ては撫順に及ばざるものあるも

◆炭量は撫順を凌駕すべく將來有望の炭田こして經營の規模等も亦撫順こ稍伯仲したる組織なるが滿鐵に於ては目下採炭後の運炭方法に就き研究中にして

◆遼陽迄運炭線を敷設し遼陽に於て南滿線に接續を圖るか或は錦川に出で連山灣より輸出すべきかに付き決定せず之を地理よりせば

◆錦州に出づるを利便こするも連山灣は支那の經營港なれば此間彼我了解を遂ぐる事至難の點あり結局遼陽線敷設を見るに至る可きか

◎木材の大會社

◆滿洲各地より放資す◆

安東、奉天、撫順、本溪湖等の資本家を以て組織計畫中なる東亞木材株式會社の創立に就ては著々準備進捗中の處今般安東縣市場通り三丁目四番地に創立事務所を置き株の割宛其他に就き協議中なるが同會社は資本金三十萬圓にして發企人の顏觸れは奉天より鶴岡永太郎、砥谷忱、安東縣より高橋貞三、村木助次、河木幸村、花戶貫一、永木榮一、本溪湖より田中重策、撫順より外山一造の諸氏にして割宛は安東縣三千株、奉天大連二千株、撫順本溪湖京城其他より二千株合計六千株こし一株五十圓を本月十五日迄に第一回四分の一を拂ひ込み二十日頃創立總會を開き直ちに營業を開始する由なるが營業課目は原木の委託販賣製材木材の保管及び木材株等にして本店を安東縣一番通り三丁目に置くべく目下建築準備中なりこ

◎關東州こ糯米麥

關東州內及び滿鐵沿線在住邦人需用の糯米輸入に就き關東都督府は十月一日以後日本內地より輸入せんこする糯米、挽割麥又は壓搾麥輸入特許に關しては四月二十日告示五十七號に依り輸出入商は輸入數量、註文先、輸出港輸入港、荷受け人の住所氏名、商號を記載し所轄警察を經て出願すべし（大連）

◇大懸賞社告◇

天高馬肥、燈火將に親むべきの候、吾人の詩囊亦空しからず、我社は此の好季に際し、我十萬愛讀者諸君の爲に詩趣の深きを添へんが爲左の懸賞を以て汎く江湖に錦心繡腸を募集す振つて御投稿あらん事を希望す

懸賞金　百五拾圓也　投稿締切十月二十日

投稿者諸君は左の規定及課題に注意せられよ

論文『宴會改良に就て』（十五字詰二百五十行以內）	一等 十五圓 一人	二等 七圓 一人	三等 四圓 三人		社內選
漢詩『秋懷』（七言律絕）『四睡圖』（七言絕句）	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人	京都	高野竹隱先生選
俳句『初冬』『しぐれ』	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人		日池選
川柳『咳』『記念』	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人	東京	井上劍花坊選
和歌『冬の朝』『落葉』	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人	東京	尾上柴舟先生選
小品文（隨意）	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人		社內選
短篇小說（隨意）（十五字詰二百五十行以內）	一等 十圓 一人	二等 五圓 一人	三等 三圓 三人		社內選
情歌『室咲』『小春』	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人	東京	平松天籟選
一口噺（隨意）	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人		社內選
寫眞『晚秋』	一等 三圓 一人	二等 二圓 二人	三等 一圓 三人		社內選

以上の作物は一人全部應募は自由なるも漢詩、俳句、和歌、情歌、一口噺は一人各二作以內小品文は二作迄、短篇小說及論文は各人各一作に限り寫眞一人二枚以內こす

應募原稿には表封に必ず懸賞募集原稿と朱書せられたし

發表は十一月上旬時日は追て發表す入選以外のもの佳作は選外佳作として京城日報紙上に揭載す賞金は發表と同時に送附す

京城日報社

慶北共進會彙報

賑やかな氣分が漂つて來た（大邱）

海に軍艦……空には飛行機

慶北第二回物產共進會の開かれるのも愈々後二旬こなつた當事者の苦心計畫した諸般の施設も其後著々こして進捗し會場に建物建築も最早六七分通りまで出來上つてゐる市の玄關口大邱驛前の構內も既に先頃兩側の木柵を撤去して取り擴められ驛の建物も其內外共悉く塗搭らるゝ筈である、驛から會場に到る道筋數箇所には豫て報道した如く大邱協贊會の事業こして各種最新樣式の大弧門が是亦將に其の壯麗なる姿を現はさむこしてゐる、共他會期中大邱の上空をプロペラーの音勇ましく鵬翼を勇ましく張つて翔け廻り本年の共進會に一入の景氣を添へむこする飛行家伊藤音次郎氏一行の先發隊も玆數日中には大邱に乘り込んで諸般の準備に取り蒐る筈になつてゐる、海には軍艦、空には飛行機陸には天を摩する各種の建造物、蓋開けは愈旬日の後に迫つた、市中の人氣は動かざらんこするも得べからずである大邱市中は昨今彌が上にも活氣充溢し共進會氣分は視るもの聞くもの毎に味ふことが出來る、先頃迄は未だそれでも幵處此處に見かけて居た空家の如きも最う今日では殆んご見ることは出來ない、移轉、擴張、大邱の商人誰は孰れも謂ひ合せた如く閻中飛躍を始めてゐるらしく見ゐるこ之等も共進會氣分の瀰漫してゐる、斯くして共進會氣分は尙今後日を逐うて濃厚の度を加ふる事であらう（大邱）

◎鮮銀こ馬山

◆新義州出張所こ共に◆

閉鎖說に就て

馬山及び新義州兩地の朝鮮銀行出張所は殖產銀行の設立こ共に權利義務一切同行に引繼ぎ引揚ぐべしこの說に對し菅井馬山鮮銀出張所長を同所に訪ひしに氏は曰く本所には未だ何等公然の通知なきも右の風說は殖銀計畫當時より吾々の聞知する處なれば愈殖銀の營業開始されたる今日にては或は事實こなるやも知るべからず併し當所へは公式にも非公式にも何等通知なき所より見れば近日の中に此事ありこは思はれずヨシや近日中に實現化するこするも其全部の引繼ぎを了して當地を引揚ぐるに至るまでは尙ほ多少の時日あるべく余の考ふる所にては全然引揚ぐるは來春の候こなるべし（馬山）

◎滿洲產の藍

◆製法を改良せば有望◆

染料の暴騰に伴なひ滿洲藍が近頃は甚だ世人の注意を引き昨年頃より日本人側でも相當研究する人が出て來た樣であるが滿洲に於ける藍の栽培は古い歷史を有し現今においても支那人間に使用せらるゝ染色料は殆ご其大部を此に依つて自給せられて居る土地氣候等から云つても南滿一帶は

藍の栽植に甚だ

適當して居る戰亂勃發以來藍需要が激增し一般栽培熱旺盛を極めつゝあるけれども滿洲在來の藍は色素が比較的稀薄であつて日本內地其他優良種に劣る點はあるけれども若し外種を移植して漸次

優良種に改良を

したならば必ず好成績を擧げる事難事ではない關東州農事試驗場では一昨年以來此目的を以て內地優良種の輸入をなし其成績は甚だ良好であるこ云ふ併し滿洲は雨期の爲め

刈取りは二回で

あるが遲蒔さへ宜しければ發育も良好であり有望なる事は保證されたから向後滿洲藍は改良こ共に漸次激增を來す事であらう（奉天）

◎朝鮮人生徒が副業で得た金で

慰問袋を

出征軍人に贈る

忠北淸州公立普通學校生徒は井上校長より我が西伯利出征軍に關する戰線に於ける將背の艱苦の狀を懇き痛く感激して噂に聞く慰問袋こいふものを贈らんこて誰いふこなく發起したるが是に就ては平素同校に於て鮮人兒童に授業の餘暇養蠶をなさしめ又は豆類杯を耕作させ或は此頃山にて栗を拾ひ拾して金錢を貯蓄させ居るため生徒等は父兄の助力を得ずして多少の貯蓄あるを以て是非ごも此の際出征軍に慰問袋を贈らんこ希望せるものにて鮮人兒童が獨力にて得たる金を以て慰問袋を贈れるは蓋し淸州が初めてなるべく之を受けたる將士の心情や如何なるべき（淸州）

◎記念日こ奉天

◆支那全鮮に亘る特赦◆

三鞠の式典を擧げ

十日支那共和國々慶日に相當し奉天にては支那官民の祝賀あり文官は委任以上武官は營長以上何れも大禮服美々しく公署大堂に會合し祝酒に代ふるに茶を以てし特に本年は新大總統就任後初めての國慶日なれば正式典に則りて式を擧げ一般に休業し且つ刑の執行を止め又大總統の特赦令も出づべく更に在奉二十七師は全員を北大營に集め閱兵式を行ふ（奉天）

泥棒の研究

◆盜まれぬ心得◆

安東警務署に於ては其の筋の命令により去る大正二年より同六年に至る滿五箇年の竊盜被害の種類を取調べ中であつたが、最近漸く完成したので其の內容を聞いて見るこ其の手段方法等はいろ〳〵あるが五箇年を通じて

一番多いのが空巣

即ち留守宅の盜難で日本人が五百八十五件、朝鮮人二十四件、支那人が三十二件合計六百四十二件是は何れも芝居遊山湯屋へ行つた跡や買物に出た留守に失敬せらるゝのであるから油斷は大敵である次は

眞夜中に忍び入る

所謂梁上の君子こも云はうか、夜間寢入りしか聽た寢の油斷を見澄まして裏口や鍵金を捻開け又は便所の掃除口こか戶締の不完分を見込んで忍び込んだ竊盜被害は日本人二百四十九件、朝鮮人七十四件、支那人其他七十二件合計三百九十四件是が本物の泥棒こ名の付くものであるかも知れぬ次には

◇◇玄關先き の竊盜で俗に云ふ靴脫又は拔つ盜ひに屬するもので日本人の被害三百六件、朝鮮人十三件合計三百十九件こなつて居る次は

◇◇屋外竊盜 で洗濯物を失敬したり工場敷地や工事場に置いてある衣類や木材其他の器物を持つて行かれたのが日本人が百五十件支那人其他十六件合計百六十六件其次は

◇◇店頭にて 買物をするやうに裝ひ又は店の番頭や小僧が油斷をしたり居眠をしたりしてゐる隙を覗つて物品を搔つ攫つたり萬引したりした被害が日本人百十五件支那人十五件、朝鮮人七件合計百三十七件それから

◇◇空家を狙 つて竊盜する奴は假令ば空屋に忍び込んで建具の金具や硝子を持ち出したりしたのが日本人のみで百三十七件、其の次に特に注意を要するのが例の

自轉車泥棒である

日本人の被害が八十六件、支那人の被害が二件合計八十八件こなつて居る、此の泥棒は頗る巧妙で且つ固々しい奴が多く、多くは店先や、銀行、會社の前に自轉車を乘り棄て、要用を濟まして居る隙に乘じて失敬して自轉車で逃け出すのである次に

◇◇合鍵竊盜 こ云ふ奴は讀んで字の如く數多の合鍵を持つて居て倉庫や留守宅乃至は倉庫を開ける奴で此の手數になるこ本泥棒こ云ふ格で日本人被害七十三件、朝鮮人一件こある

懇意同志の泥棒

是れは少々性の惡い放蕩漢によくある奴で、彼々君だの僕だのこ仲能くして朝夕出入して居り乍ら友人の衣服を持出したり時計を質に曲たりしたのが日本人に二十八件、朝鮮人に十二件、支那人に七件合計四十七件ある次は

◇◇荷車の上 の泥棒で他人が荷車を曳いて汗や油を流して居るのに同情して後押しでしてやる風をして穀物に菓子を入れて自分の袋か何かに移して逃た奴が日本人の被害で十名支那人が二名次は

俗に野荒しといふ

畑泥棒の被害で日本人が十三件、支那人が三十一件である次は

◇◇土藏破り 竊盜が日本人の被害三十七件次は湯屋に於ける被害是れは

◇◇板の間稼 こ稱するもので日本人の被害は三十四件、支那人の被害が二件合計三十六件次は

◇◇邯鄲師と いふ宿屋の竊盜、枕探し被害は日本人二十六件朝鮮人十一件

◇◇其他雜件 では牛馬豚等の被害二十二件、船中でのが十一件、源氏師こいふ荷車を盜んだ奴が十五件、路上十六件、相撲場や祭の際に於ける多數の人寄りの場所で九件

此の外に種々雜多

な路上竊盜十六件同居者の竊盜こ云ふ奴が日本人廿七件、朝鮮人五件支那人九件、列車內の被害一件

◇◇病院學校 專門の竊盜が十三件、寺院の竊盜一件、乳母車を失敬したものが五件、水上竊盜こ謂つて

◇◇筏や材木 の漂流物を竊取したのが三件、鐵道貨物の拔き取りが九件で五箇年の盜難事故は總て二千三百五十八件であるこいふことである（安東縣）

（地方）

◆◇大祭 新義州神社十日秋季大祭を執行し當日軍人分會大會及び農學校の記念會あり賑ふべしこ

◆◇祭禮 既報の外仁川神社は十五六日、咸興神社は十七日執行す

◆◇金剛 山の紅葉コ、數日が見頃にて一萬二千峰の奇勝は全山錦繡を以て彩られ雄觀比類なしこ

◆◇平壤 元山間自動車每日定期往復し兩地こも每朝七時發夕景到着し近頃沿道の紅葉頗る美なりこ

◆◇迎日 灣は今秋珍らしき大漁にて灣內百七十三箇漁場の從業者は物價騰貴を外に頗々の盛なり

◆◇木浦 にて日蓮宗の橫山惠正師主唱にて天晴地明會を設け目下盛に日蓮主義を鼓吹しつゝあり

◆新豌豆の青きんこん 買ひ見五合の皮を小刀又は庖丁で剝き沸立つた湯に鹽少々を投したる中に入れて軟かに茹でゝ直に水を切り其の三分一程を裏漉にかけ殘りの三分二は味淋三勺の葛切たるもの水一合五勺砂糖六十目鹽小匙半杯程でさつぷり煮込み十分味のついた頃前の裏漉にかけたるものを入れ焦げ付かぬ樣杓子で搔き交ぜながら煮詰め少し軟か目ぐらゐの所で火からおろして三十分間程むらし皿にあげさまして置きますとよい品となります

時候の變期の注意

腦病、神經衰弱に惱む人は讀め

◎今の時候は惡い 秋風が爽かに、夏の苦しさも夢こ過ぎた。働かう、讀まう、運動しよう、何にも適快な時節であるが倂て又一口に葺時分こ言つて、松茸の出る今の時季は、注意しないこ隨分惡い病に罹り易い、殊に腦や神經の病ある人、病こいふ程でなくこも平素其障りのある人、例へば頭痛持の人、常習便秘の人、逆上性の人、不眠の傾きある人、憂鬱性の人、心配性の人、凡て斯ういふ人々は今の葺時分に病勢を重らす事が甚だ多い。腦神經衰弱ヒステリー等の患者は特別の注意が必要である。

◎悲慘な腦神經衰弱 暑い時分には健康な腦でも疲勞を招き易い、身體がダレルから自分の暑さの所爲だこ許り思つて居るのが少しも癒らない、此細な事にも神經は益銳くなり記憶力は減じ、取越苦勞をなし、强迫觀念こいつて無暗に者事を怖れる心持こなり內臟的には頭が重苦しくなり、且つ鈍く痛みを發ね、夜は安眠が出來ず、食慾は進まず、便通がなく動悸が高ぶり何事をしてもスグ疲れ易く元氣がないハテナこ思つた時はモー立派な神經衰弱症に陷つたのであつて捨て置けば段々重くなる許り、『ヨンナ時に一步過れば自殺をしたり折角の事業を拋棄したりするのであるからよろしく適切な養生をせねばならぬ。

◎適切な養生 だから今の時を餘程注意して、少しでも自分で惡いこ思つたら直養生を心懸けねばならぬ。但し養生も其仕方を過るこ何の効もないばかりか、前に述べた却て病を重らすやうな不幸に陷る惧があるからよく〳〵適切な養生法を採らねばならぬ。

◎腦病唯一特効藥 養生法の第一は何こ言つても藥の選擇である。藥の良否で患者の容態を好くも惡くもするのは一番明かな話である。此段になるこ、世の中に腦神經に對する良い藥も少くないが、其中でまた立優つた良い藥こいへば今日健腦丸が世上に最も歡迎せられ多大の信頼を博して居る、こ云ふのは幾多の患者が實驗して其偉効を承認する處で、關西で尤も設備の完備せりこ唱へらるゝ丹平製藥場で充分研究して製劑した良藥で固有の副作用こいふものが無く、且つ調合してある藥種の藥品は何れも皆良質の高貴な物、精選した物許り使つてあるので、腦神經の特効藥こして現今尤も優越せる者こ承認せられて居る然ればこそ『高村博士も健腦丸の有効を證明』せられたのである

◎最有効の療養法 凡ての腦神經衰弱諸症の尤も有効な療養法こして健腦丸を御常用になる事をお勸めする。數年來不快不幸に送つて來た腦神經患者にして、健腦丸によつて快復の幸福を得た人は數へ切れぬ程澤山である。健腦丸發賣元だる大阪心齋橋筋丹平商會本店では、然ういふ人々の中から持越される快癒の禮狀を屢々受ける。中には五十五歲の齡から每日缺かさず服用して七十歲の今日に及ぶも無病壯健で稀く可き精力主義を發揮してゐる人もある其高齡者の家系には遺傳的に中風や、卒中で夭死の人が多かつたにも拘らず、健腦丸常用の庇蔭でかゝる効果を現はしたのである。

◎病こいふ程でなき人 所で又腦神經の病氣こいふ程ではないが、併し何か然ういふ方に障りがある、前に述べた頭痛持こか逆上症こか種々の人、斯ういふ人々は兎角性分で爲方が無いこ云つて打捨ておく人があるが之が甚だ惡い。後々に大變な祟りをする事がある。重い腦神經ヒステリー等の患者は、必ず當初然ういふ容態のあるものであるから、少しでも幵塵氣味があつたら、早速健腦丸で癒して仕舞ふが可い。健腦丸は腦神經に良好な滋養作用を與ふる許りでなく、腦神經の病に伴なふ頭痛、眩暈、便秘、耳鳴、不眠等を去る効力も著しい。

◎豫防こ腦力增進法 尙日常多く酒を飲む人は、恐る可き中風、卒中抔に冒される危險の多い譯であるが、前項に述べた樣に健腦丸を每日少量宛服用しておけば其病の豫防になる。且又記憶力を增し頭腦を明快にする作用もあるから腦力の增進を望む人は是非常用す可きである。藥價は四回分廿錢以上から十週分金五圓迄東京[illegible]京都屋町丹平支店及び全國各藥店で販賣してゐる。

りん病 洲病消渴で困る方切手三錢封入多年の慢性も自宅で秘密に治せる妙劑を無代で敎ゆ 名古屋市南小川町 武藤竜吉

テンカン ヒキツケ ル病を自宅で秘密に治す事を人助けに無代で敎ゆ切手三錢封入申込あれ 名古屋市中區南小川町 救生館

廣告 鐵鑛 鐵鑛石 右多少に不拘高價買入す 平壤本町 岩田商店

面白い程きく かぜつねに カキヤピリン 御便利で手輕で有効 本舖 名古屋 荒川長太郎

日本及英米佛三十ヶ國專賣特許 胃腸最新藥 ケ.スチン

りん病 ばい毒 ルーデサック 京城永樂町二丁目交番北 ドラッグ商會本部

原田寅三郎妻 儀病氣ノ處本日午前八時死去致候間此段御通知申上候
追テ葬儀ハ明十一日午後四時自宅出棺大和町院ニ於テ執行可致候
大正七年十月十日
男 原田康
親戚 原田定造
總代 原田謙
清宮宗
友人 金谷充
總代 大塚源三郎
太田虎吉

[illegible]八圓八圓[illegible]錢[illegible]錢[illegible]錢五錢十錢 八錢七錢六錢五錢六錢七錢六錢四錢五錢四錢三錢 二十七圓九十錢 二十八圓十錢 二十八圓二十五錢 報 [illegible] 二十七錢 二十五錢 二十四錢 二十三錢 [illegible]

商況

東京株式特電

九日後場 講和提議に對する拒絶の傳はり諸株小高し先物止め

東株新株 一七二九〇 一二八九〇
鐘紡新株 二四四〇〇
滿鐵 九七九〇
郵船 一九五〇〇

東京期米特電

九日後場 三十三圓四十錢 三十二圓七十錢 三十二圓七十五錢
高値 安値 止め

兵庫期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

九日後場 三十五圓丁度

下關期米特電

九日後場 買氣旺盛なりし爲め買ひ行屆きたるさ各地安に節々暴落せり

雜報

綿糸布傍觀

大阪 三品は昨後場當限四百十四圓九十錢先三百九十圓にて前場に比し小鉤ぶき成行三銘十二圓三十錢位に持合ひを報じたり當市中も之に伴ひ漸く鈍成氣味となり今朝は商內不振にて一般成行き傍觀の氣味あり

正米又上向

三日 來ず安歩調を辿りつゝありし市場は正米は仁川手筋の買漁り絶えざるより昨年後は五六十錢高の氣配となり今朝は定期安に後市況活付きたるも荷主の氣氛込み强く在來種並品にて三十三圓處を唱へなりし爲め買人全く見送りさなり商內行はれず標準は日本種玄米三十三圓九十五を在來種三十三圓二十錢次品三十二圓四十錢にて新旬昨午前中より四五十錢高に當れり

碎米上物好調

碎米は鮮人酒屋口よりの昨今相當上物に對する買進みありて賣行きも良好なるも次品は不良なる爲め氣配も上物の氣配きに反し不味の成行きなり相場は特等二十八圓一等二十七圓五十錢三等上十七圓二十錢見當なり

支那粟弗々

粟は賣行き良好に連れ上品の望口

糯新物氣弱

少なからず在荷漸減しつゝあるも次品は鮮人筋にて氣乘らず相場は海上十二圓二十錢見當なり

鮮白買控ね

鮮白は餘り賣行き良好ならず相場は三十圓四十錢仕掛け三十一圓三十錢處に保合ひ見込み新白の出廻りを控え各小賣店共に買控ひ居れば市況沈滯氣なり

新物に連れ氣配弱り約二圓落

古中白品瀉の折柄にて捗々しき賣行きなきも相場は右拔四十二圓水原物四十圓島山物三十八圓見當にて新物は弗々出廻りあるを以て新物に連れ氣配弱り古品より約二圓落の處也

小豆は不味

小豆は正米及他の雜穀に比し頗る安價なるも賣行き不振にて氣配不味なり新物は二十四乃至二十一圓處にて弗々出來しつゝあり

皮革益活氣立

前月來露領方面より買注文により頓みに活氣立ちし當地皮革界は其後一時注文途切れの模樣なりしも一兩日前來再び注文

賓方面再び注文

盛んに入込むのみならず同方面より二三の買附に入京ぜる向ありて此處市中在荷は之が爲め商內の活潑に連れて漸次拂底

を告げ來れり一方內地市場の需用品は米國其他各國向けの輸出旺盛なる爲め買人側の氣配も强く之に伴ひ中國品底革は重量物も輪出增加の爲め本邦への輸入困難の爲め內地品は夫々軍需に充てられ居れば市中出廻り拂底を報ぜるなれば本國製品の前途は限によって本國製品の海外輸出力乏しとの事にて今後本品は絶對に輸入杜絶されるべく期待を以て各品共に入氣漸く引立ちて

輸入杜絶

約三十圓高

二十錢高

十錢方引締

煎子不漁高

煎子は地曳漁の爲め昨今移出殆ど杜絶の有様なるも群山各地共に不漁の結果出廻り少なく延いて氣配愈々高まりて此處市中相場は上物二十七圓見當に上れり

昆布新物安

昆布は利尻一等十七圓前後の唱へなるが本年は北海道地豐收なりし爲め新物安氣配にて不日入荷の新物は利尻一等十五圓五十錢處に奮戰せらるべし

味の素値上

味の素は販路の擴張に伴ひ生產著しく增加を示せるが南洋方面の輸出旺盛にて常に出廻り不充分となり製造元に於ては原料高騰を相俟つて今回一割方の値上げを行なふ事となり而かも從來は値上げ發表と同事に特約店に對し夫々前値を以て若干の配給をなしたるものなるも今回は此例を破りて前値物の配給を爲さざる事となりたれば特約店側より販賣店側に對する取引も殆ど手心を加ふるの餘地なく强硬に新值を敢行しつゝあり

下關相場

▲朝鮮米（好況） 白米千三百五十俵の廻着ありしが矢張り大部分は既約品にて實物尠少なるが産地の引締き好報にて買人には勢ひ唱へ値に引付けられ居る現狀なれば亦復三三十錢高を呈示し現物當用口は四十四圓五十錢乃至四十五圓に本月物四十二圓八十錢より四十三圓にて是亦可なり手合行れ依然强硬を示せり

京城正米市場

▲大豆（不足） 釜山新物二百叺入荷ありしが頃日產地の落付模樣にて當市場の需用品は品不足を持續せる事に成り商況賣行を察するも仁川新物八百叺は昨日入着品は山勢入荷を手控ひ一兩日鎭南浦より送附するもの多く引續き出着を期しつゝあり

▲朝鮮一等白米 四十四圓五十錢

▲同 四十二圓八十錢

▲同木月分 四十一圓

▲釜山新大豆 二十一圓

▲宣川大豆 十三圓二十三錢

▲雜大豆 十六圓五十錢

▲義州青大豆 十七圓四十錢

▲元山大豆雖上 十九圓四十五錢

▲同 當用 二十圓

南大門廻穀

期米は大波瀾の裡にしも京城正米は依然さして實需の氣配に鎭たる餘り其他各地の期米筋よりは依然さし何れも見送り狀態となりて今朝の出來ざりし爲め商內行はれず殆ど見合ひの有樣なり

仁川正米

▲糯の入津弗々あり

▲正米は定期の暴騰を受けたるも筋賣買途に弗々新米の出廻りたる買見送り保合に居れば今朝の期米暴落にも向商談行はれず

釜山市場 九日

▲玄米（暴騰） 昨八日の市況は底强く保合の裡に四千叺內外の商內ありたるに過ぎざりしが今朝の市場に於ては內地移出筋及び朝鮮米の入荷甚だ出廻り筋は精米業者の買進み旺なりし爲め氣配頓に活氣を生じ出盛り相場も高くなりつつあり五十錢高を以つて引締き出頭るも買物多き爲め買方の付値高にて商內行れつゝあり

▲新大豆（弱保合） 引續き出廻り潤澤にして商內行はれつゝある品の入荷多くして前報後別項の通りにて取引出來せり

生魚市場

▲京城日丸市場 釜山仁川統營物にて引續き鯖鰯目立ち入荷數も前日より多かりし

△たい四五△さわら二四△ひらす二四△ひらめ一二△ぼら一三△あなご一二△さば一〇△あぢ一〇△もひび一二〇△めばる一〇△にべ一二△かつを一〇△さより一五△たこ一三△このしろ二二△ぼら一〇△生いわし一五れん長九△ふか八△あわび四五△あゆ△かき二〇△たうな一〇小たい三五

仁川期米

十日前場（暴落）

▲第一節 當停止中限二十八圓五十錢より二十錢と瓦落先二十八圓九十錢と二十八

鐘下放れに寄付

▲第一節 中二十錢より十錢先押し八十錢と大崩れを演じて引り買物多く七十錢と暴落

▲第二節 中二十錢先二十錢を返し八十九錢と押し九十錢と大崩れを演じて引

▲第三節 中二十錢先七十六錢と大崩れを演じて引

▲第四節 中十五錢先八十錢より

盛裡に不勢の成行

先八十二錢

大商

期米大波瀾

大阪昨後場

止め俄然暴落

七十錢と暴

七圓七十錢と

形勢一

當中限は解合

買退筋の硬化說

人氣頗る動搖

市場雜觀

▲昨後場は大阪後場當限出來不申三十八圓四十四錢先三十五圓中三十七錢の入電にて當地當停止中限二十八圓三十錢より七十錢と返し四十五錢と押し六十五錢と返し四十八錢引先二十七圓九十錢と二十一錢高に寄付きたるも崩れに新規に買物多く八四錢に漲騰し三十五錢と暴騰せしが後直に又利喰に新規に賣物現はれ十八錢と押して散會したり▲前場强硬の標先を受けて後場は更に大暴騰を演出したり是必竟正米の高値維持し居るさ內地各市場の依然强硬を報じたるより買方の賺氣を生じたるさ機に乘じ强氣筋の買進みに依る

叺繩莚

叺繩莚穀物鑛石海產物用及荷造用莚各種

箕浦商店

京城本町二丁目 電話長五二番

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助

仁川港町 電話（一二六七・三六八）又（ヤマサ）

人氣の沸騰に外ならず殊に賣方主力筋分は當中を解合たるも同時に先限に向つても大に買付きたるより市場の風說には或は如何あるべき▲引跡大阪止四圓七十七錢さ入電に

從來の主力筋

大阪と觸寄

演出

軟軍の主力筋

硬軍鼻息

益荒

買

高値は捲土重來

從來賣一

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

仁川海岸町三丁目 電話長四番二二〇

仁川米豆取引所

十日の十二月限

前場	寄付	高値	安値	止メ
	二十七円九十錢	二十七円八十二錢	二十七円丁度	二十七円七十錢

平均値段

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節
二十七円九十三錢	二十七円七十四錢	二十七円八十一錢	二十七円八十三錢	二十七円八十三錢

白米小賣値

一等白米 四十錢
二等白米 三十九錢五厘

白米標準値

四十四

株式會社仁川米豆取引所仲買人

全高田仲買店

●前金御注文は紹介を不要候
●營業案內及電信略號進呈

仁川海岸町三丁目
電信略符ヨツ
振替三八一一
電話長一〇〇
電話長一一九

册六番角力

毛谷村六助 第三一席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

毛谷村六助は天野小傳ミ密議を遂げ小傳を以て微塵彈正の身分を取調べさせ、猶再應の立合を願ひ出でました處、何ごも御沙汰はございません、再三歎願をして其の沙汰を待つて居りました處、門邊へ訪れまする三人の女子、下男の松藏が樣子を見れば年齡五十有餘の貴婦人美しき娘を伴れて女『六助殿御在宿ならば御目にかゝり度うございます』松『ハイ、一寸待つて下さりませ……』旦那樣、年を老つた方ご若い女中が三人伴れ貴下に用があるご云つてお出なさいましたご聞いて六助不審顏、如何なる人のきたりしやさ玄關へ出迎へば、コハ抑如何に我が爲には大恩ある師匠の妻子三人、揃つてきたりしは何か仔細のありつらんと、六『是は〳〵御新造、御嬢樣ごくぞお出、先づ御洗足を上げませう』とあれよこれよと豆々しく下へも置かぬ扱ひは如何にも親身の振舞三人は大いに喜んで設けの座に直り、一ミ通りの挨拶終り六『如何いたして此處まで御親子御揃ひにての御入來は何か深き仔細もございませう、若しからずば仰せ聞け下さる樣』會釋をしたお八重は八『イヤもう六助殿、今に初めぬ貴方の親切洵に忝い、まア聞いて下され、三人揃つて旅行の譯は斯云々の事で』と涙ミ共に物語る、六助は打驚いて六『エー偖はあの先生は……ウム、それは申さう樣もございません、然し其の探る內匠ミ云ふ奴は當國に心當り』八『されば當國香椎ミやらの者ぢやさうな、勿論彼は無類の曲者その生國も京都ミ僞り其の實名は

し上げます』先づ睦くお勞れをお休め下されたら』三人は大きに喜び六『何を云ふにも其方が便り出の上ミもに』『エーもう決して被仰るまでもございません』及ぶ限りはお力を盡しませうが、然し人目にかゝらぬ樣』ミ三人を奥の一室へ隱匿ひ內外の者へも心を付けて居る、偖六助は彼の彈正の人相書大方それと察したれば左の小指の無ミ云ひ、未だ生國も確められず再度の試合を許されなば乾度御相手に相違無し、さア此上は再願をと思へば心も心ならず、直ちに支度を整へて城下を指して急いで參り程なく來つた天野の屋敷、幸ひ小傳も在宿故試合再願の儀を申し入るも彈正は却々の曲者、巧言令色を以て殿を初め重役を瞞著し、更に再度試合の儀は何やら事を左右に寄せてためらう樣子は愈怪しき曲者めと六助は殊の外の曲者が殿を初め重役もそれは此方より六助が負け惜みならんと再度の試合にも及ぶまいと云はるゝ故に拙者も强て願はんとは無く殘念ながら延引いたしてございます』六『ハア、それは〳〵種々と御心配、然し決して某の我慢にあらず、過日もお手前へ申す通りの仔細故、是が非でも立合を願はねば成らん依て天野氏斯樣いたさう』お手前より直訴いたさう、小『成程さ』れも相宜しうございます、六『然らば即刻參上いたす』ご暇を告げて六助は立去りました

◎安東縣近事

▲酒類值上發表 安東縣酒商組合は十月六日より大樽四圓瓶詰三升入一圓十錢宛の値上げを斷行すべき旨發表せり

▲安東信託開所 安東信託公所は種々の事情により再三其の開所期を延期し來りたるも準備漸く完成したるを以て十五日より取引を開始するに至るべしと

▲國分長官動靜 朝鮮總督府司法部長官國分三亥氏は七日午後七時四十分安東縣に著し元寶館へ投宿したるが一泊の上荻田總務局長と同行滿洲方面の視察に向ふべし

▲橘翁筑前琵琶 筑前琵琶界の名手橘旭翁は滿洲巡遊の途次安東に立ち寄りたるを機とし九日午後七時より安東公會堂に於て演奏會を擧行一般の來聽を希望せり

▲不老庵惜別會 久しく安東に居住し裏千家流茶道指南をなし來りたる不老庵事渡邊宗豐氏は今般歸國に付過日鎭江山朝日閣に於て送別茶會を開きたるが盛會なりし

▲出張所員觀楓 大連汽船出張所員一同は六日の日曜日を利用し鳳凰山に於て觀楓の清遊を試み歸來したり同地の楓信によれば今や滿山の紅葉燃るが如しと云ふ

▲安東神社休業 十月十日は武昌起義記念日に相當するを以て安東總商會は當日一切の事務を休止し敬意を表する旨海關長の名を以て告示したり

曆

十月十二日 九星 舊九月八日 壬辰 本命五黄八方破佛滅

▲五黃●親切過ぎて反て恥を取んとす新出見合南方は吉●爭なし▲六白 迷想に走て他地に就くの日 萬事進で利有女子は一層よき事有▲七赤 遊びの利した日蔭開業入學名望求 職建築 婚姻 製材造船出舍▲八白 富の進れる事 有日 新事手を控へ吉 萬事▲九紫 公事は吉萬事起しに進むべし▲九紫 大吉 婚姻移轉普請旅行 一切のかけ事に禁事日 新事手控の事は吉▲一白 こたく吉▲二黑 何さなく氣の落ち付かぬ日 新事手控 萬事に注意▲三碧 症積の起る日新事手控よし▲四綠 氣腐りの事は吉女子は心を夷に有日 新事手控萬事吉

演藝案內

壽座

本町三丁目 電話五七八番

當る十月十日より午前

▲日本一 前狂言 浪花政吉一行

▲野狐三次（筋太郎）

▲切狂言 五郎正宗孝子傳

黃金館

京城釜山 一手代理店 天然色活動寫眞會社 特別大興行 電話（晝間）二二六六 電話（夜間）二六三七

瀧夜叉姬

將軍太郎

タタース 全四卷

輪廻の絆

壽館

本町二丁目 電話一〇五〇

當る十月十二日より 浪曲大名人東洋軒雷右エ門一行

大正館

櫻井町 電話八七三

當る十月十一日より第二次特別大興行

◎舊劇『猫塚』全三卷

◎滑稽『給仕頭』全三卷

大悲劇『續金色夜叉』全六卷

有樂館

早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話（階上）一五七七番 電話（階下）二〇一二番

▲海水浴の美人 全一券

不思議の家 全五卷

賓石島 全五卷

灰色の幽靈 第四篇 全六卷

浪花館

明治町二丁目 電話長二六〇番

京阪落語若手大一座

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元 富安本店

京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店

電話四一〇三九番
振替口座四三九番

與賣御斷り

診察時間

自午前九時 至午後六時

初診の御方は可成午前中

京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）

シメノウチ齒科醫院

電話八一二番

金牌受領

將棊倒しとなりて

不德なるニセモノの自滅する時に方りて……

泰山の如く獨り

專賣特許

亀の子束子

は信用ますく厚く好評一世に轟く

用途に就て

倉庫洗滌と炊事器洗滌とは亀の子束子を各々別にせねばなりませぬ、流し場其他不潔な所を洗ふ時と浴室洗面所又は室內什器洗拭の場合と洗滌の折等夫れ〴〵亀の子束子を一個づゝ用意して置けばいつも品物がキレイで損ぜず衛生上非常によろしうございます。

▼いよ〳〵包裝した新製品を發賣しました▲

本舖 東京 西尾商店

互光商會汽船出帆廣告

第三 ◎元山西湖、城津、淸津行 十月廿七日釜山出帆

第三 ◎門司、宇品、神戶、大阪行 十月廿九日元山出帆

釜山 大池回漕部（電話一二三） 十月十八日釜山出帆

◎日本郵船出帆

大連、天津行

相模丸 十月十七日

酒田丸 十月十一日正午出帆

高砂丸 十月廿七日正午出帆

仁川海岸町 堀回漕部（電話十番）

共同汽船出帆

阿波 共同丸 十月十一日正午出帆

大連直行（關東都督府命令船）

朝鮮鐵道主要驛に於て荷客連絡取扱

仁川代理店 野口商會

元山代理店 田口回漕店

京城取次店 河村運送店

尼崎汽船出帆

大阪行直行

赤城丸 十月十日後四時出

群山木浦下ノ關大阪行

大有丸 十月 日後四時出

君が代丸

仁川海岸通二丁目 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

天候其他の都合に依り變更スル事あり

▲敦賀行 淸津、城津、元山經由

平安丸 十月十三日 淸津發

平安丸 十月十六日 元山發

▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、淸津經由

平壤丸 十月十五日 釜山發

平壤丸 十月十七日 元山發

▲雄基行 關門發、釜山、各港經由

雄基丸 十月廿二日 釜山發

雄基丸 十月廿一日 元山發

×山陽丸 十月廿五日 釜山發

▲大阪行 浦潮、城津、元山、釜山

穩城丸 十月十九日 元山發

▲元山雄基線 元山雄基各港經由

雄基丸 十月廿一日 元山發

▲關門行 雄基發、淸津、城津、元山各港

平壤丸 十月廿七日 釜山發

×山陽丸 十月十六日 元山發

成鏡丸 十月十九日 元山發

▲金剛山遊覽便 元山發長箭行 十月廿三日 釜山發

穩城丸 十月十七日 元山發

▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由

▲釜山浦項線 毎日一回出帆

▲濟州島行 釜山發長承浦

昌平丸 十月十四日 釜山發

▲濟州島行 木浦發東廻西廻八島經由

東廻 慶興丸 十月十六日 木浦發

西廻 公州丸 十月十九日 木浦發

▲釜山、麗水線 釜山麗水間往復毎日一回出帆

▲木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續

順天丸 十月十六日 木浦發

▲多島海行 木浦發多島海各島行

公州丸 十月十四日 木浦發

▲木浦行 仁川發各地經由

全州丸 十月十六日 仁川發

▲海州行 仁川發江華島經由

仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆

▲鎭南浦行 仁川發各港經由

晉州丸 十月十六日 仁川發

▲大連、青島行 仁川發芝罘經由

江原丸 十月廿六日 仁川發

○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ

本社 京城南大門通 電話長一九五二

釜山支店 釜山佐藤町 電話一一二二

元山出張所 元山海岸通

仁川出張所 仁川代理店

木浦回漕部 木浦

京城大門取扱所 京城南大門

其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

京城日報

第五版

京城日報　徐總統就任　南北問題と帝國の態度

一

徐總統は昨日を以て就任したり。吾人謹嘆の誼として、先以て慶意を表する所なるも、轉つて前途を想察するに、轉た[illegible]の感なくんばあらず。支那國民は勿論、吾人隣國に於いても、新總統に期待する所は南北協和の實行に在りき。然るに徐氏當選後に於ける南方の態度を按ずるに、依然として彼の護法論を振り翳し、徐氏の當選を以て非法無効のものと爲し、攻撃百端、些の餘裕を存せざるが如し。最近北京よりの報に據れば、岑春煊及び陸榮廷は徐氏に打電していへらく、西南は公に勸むるに總統の職に就くなからんことを以てせしも、尚採擇せられず、護法各軍隊は專ら十日(徐氏就任の期日)を以て公が就任すると否とに因り北方が妥協を欲するの誠意ありや否やを卜せんとす、將來南方一致の反對を防がんとせば、公注意せよ、之を最後の忠告と爲すと云々と。即ち徐氏の就任は、明かに、南北妥協の斷絕を宣明するの、結果となる次第なれば將來徐氏が懐抱の政策を實行するに就いて、少からざる困難を感ずべく、從つて期待せられたる平和の、何時となりて到來するや知るべからざるの狀態に在りと言はざるべからず。加ふるに北方主戰派の頭領たる段祺瑞は徐氏就任と共に、職を退きて野に下れりと雖も、其の勢力は決して輕視するを許さず、況んや段氏の後勁たる張作霖の如き、依然として强硬なる主戰論を把持し、徐氏に向つて總統就任の後、討伐命令を出し、以て中央の威信を樹て、士氣を鼓舞すべしと迫りつゝありといへば、其間に處する徐氏の苦心は察すべきにあらずや。邇來、徐氏既に輿望を荷ひ、民國元首の榮冠を戴きたる以上は、百難を排し、千艱を破つても、其の主要の政策を遂行するの勇氣なかるべからず。此際踟躕逡巡して『獨怪謝安出山後。亦無經略救蒼生』の譏を取る勿れ。

二

北方に於ける徐總統の就任と共に、南方に於いても別に總統を選擧せんとし、黎前總統を以て之に擬しつゝあるが如き、ますます南北の睽離を大ならしむるものにして、極めて面白からざる形勢なりといふべし。此の如くにして互ひに意地づくとなりては、百年河清の時あるも、南北妥協の成る秋はあるべからず。吾人實に支那のために其不幸を悲しまざるを得ず、徐總統の腹中は、吾人之を揣摩するを得ずと雖も、結局互に讓步するの外、別に奇策あるべからず。近來梁士詒等の畫策なりと傳へらる、調停を以て岑春煊を迎ふる如き、亦一方法たらずとせず。要は雙方共に意地を捨て、感情の融和を圖らざるべからず。而して問題の歸着する所は、一に南方派の讓步程度の如何に在るべし。

三

徐氏の總統就任は南方より好感を以て迎へらるべしとの豫想は、全く齟齬に歸し、却つて南北の間に更めて宣戰を布告する如き、意外の現象を呈せんとするは、獨り支那のために不幸たるのみならず、累を隣國に及ぼすこと實に多し。近時內田外相が『支那に於る統一政府の樹立、及び秩序の回復は、支那自國を除きては、帝國に於て他のいづれの國よりも、最も緊切なる利害を感ず』と宣明せるは、言は簡なりと雖も、其旨は深し、而も如何にして統一政府を樹立し如何にして秩序を恢復すべきか、是實に至難の問題にして、是までとても屢手を燒きたる經驗もあれば、迂闊に深入りするが如きは最も慎むべきことなるも、此際徐氏の政策に對し、相當の聲援を與ふるは、蓋し辭すべからざる所なるべし而も近來南方の形勢を觀察するに、日本の內閣更迭は意外に大なる影響を與へ、俄然として其の鼻息を荒くしたるの觀あり。是れ固より原內閣の眞意を解せず、早計にも自己に利にして、北方に不利なるべしと想像せるに由るべきも、かゝる誤想を抱かしむるは將來ますます解決を困難ならしむるものにして、帝國政府としても甚だしく迷惑の次第なれば、此際明白に帝國の態度を宣明するの要あるべしと努ふ知らず內田外相、更に一歩を進むるの勇ありや否や。

國本培養論(六)　中井錦城

然らば其の娛樂とは如何なる事なりや、今是れが詳細を語る能はざるも、然に唯一の部落的娛樂なるものに就て言ふ所あるべし、所謂部落的娛樂の優秀なるものを盆踊となす、盆踊なる哉、盆踊なる哉、盆踊は野趣律々たるものにして、男女を問はず、老幼を論ぜず、一村一郷を擧げて之に參與するを得る平民的の娛樂たるなり、即ち[illegible]內に於てせずして、[illegible]外の娛樂たり、道具を要せず、人と人との間に[illegible]行なる娛樂たり、若し夫陰曆七月十五日の夜に當つて、皎潔たる蟾宮中空に懸り、滿衣の風露揃へども落ちず遍地の氷光凝で流れんと欲する時、月明に黑澄みたる山や森を背景として演ぜらるゝ、百姓的舞踏か田園的假裝會といふは、是ぞ此の日本特有の國技たる盆踊なるにあらずや、內地の盆踊りなるものが、平素勞役にのみ從事する村の若連中に取つて、如何に樂しく待たるゝか、彼等は正月を過ごせば、最早心に關するは唯盆踊の事あるのみ、盆踊は彼等の唯一の歡樂なり、[illegible]の生命なり、內務省が一時盆踊を禁止したる爲め、地方農民は甚だ不平を申したる程なりしと、宜なる哉、其の節面白き音頭の旋律に伴はれ、老若男女の踊廻る所は、眞に北世からなる極樂にして、又其の光景は一幅の活動寫眞なるを、されど盆踊は幾らか鄙俗の娛樂にして、彼の琴曲活花の如き高尚なる貴族的の娛樂にあらざる爲に、或は風紀を害する所なしとせざれど、こは敢て矯正すべからざるにあらず、唯『踊り踊るなら品能く踊れ』といふ、此の品能く踊るといふ一點に注意すれば即ち足るのみ、然れども朝鮮にて盆踊を行はんと欲すれば、內鮮人の習慣を異にして、又內地人の間に於てすら、各地の盆踊りを異にす、之を如何にせば可なるやと謂ふに、茲に內鮮人に共通せしめん爲め、日本語に朝鮮語を混じたる俗歌を作り、踊子にこれを謠はせつゝ、踊らしむることにせんには、夫れ或は實行に庶幾からんか、朝鮮の盆踊は內鮮人共演にあらざれば、全然盆踊の意義を沒す、若し余の謂ふ所の盆踊を實行するを得たらんには、日鮮同化は是より急速なるものあらざるべしと信ず。

以上國本培養に就て述べたる處は、唯一端に止るのみにて、猶施設を要する件多々あるべしと信ずるは、之を要するに農商工部及內部の二吏が今一層勵奬して事に當らんことを深く希望して已まざる也。(完)

邂逅　十七　佐々木峯雪

袖乞ひ(三)

急ぐ日歩しの午後の太陽は、强い光りを斜に東門の扉に射して、其處等一面は蒸されたやうに、風に捲き上げられる砂埃と共に朧となつた。

庄吉は暑さも忘れて呟いた。

『僕毎日、朝と晚と顧客を廻つて七十錢位は儲けて來る、それでお米一升買つて、賣れ殘りの野菜物でお汁を拵へて、叔父さんと二人で食つたつて、一升ありや腹一杯喰れるんだ、そして殘りのお金で酒飲むなら飲むと好いんだ、何もみんな鰊の煮たのや鯖の切目が無くつたつて、酒好きな者に飲めない法は無いや、眞成に叔父さん吞買ふお金でお米を些とでも餘計買つたら、お粥なんど食はなくたつて、堅い眞成の美味しい御飯が食べられるんだに、僕詰まら無いなア……』

庄吉は又も懐へ收めた紙幣を取り出して、情に厚い今の奥樣の心の香を慕つた。

『昨夜だつて縮うだ、自分は鰊と鯖の切れ目で充分お酒を飲んで、僕が燐寸一つ五厘出して買つたと云つては叩き、二錢のお金の事で頭も碎ける程に僕を煙管で打つんだ、眞成に僕腹さへ充分膨れてたら、燐寸なんぞ買つて食や爲無いや、叔父さんはあゝして朝起きると腹一杯に食ひ、僕が倒くつて跣々して歸つて來ると、天秤棒を下さ無い間から、やれ金だそれお錢だと財布を引奪つて、晚の仕込む金だけ殘して、居酒屋へ行つて酒を飲むんだもの、それもお酒ばかりなら好いが、魚を買つたりして了ふんだ、そして僕にや爪の垢程だつて美味しい物は呉れ無いんだ、みんな自分一人で食つて了ふんだもの僕眞成に、何の爲に肩の腫る程働くのか譯が分らないや』

庄吉の兩の眼からは涙が絕間無く落ちる。

『僕眞成に詰ら無いなア……』

思はず其處へ突つ伏して腹の臓腑を上る程に泣いた。

此時耳の側に靴の音がした、庄吉は急いで懐へ紙幣を入れて、襦や袂に着いた塵を拂ひながら立つた。

『旦那樣お惠み下さい』きまり惡る氣に淚を拭つて辭儀した。

『おゝ、これは〳〵』と紳士は怒いたやうに靴の音を止めて、庄吉の姿を視入つた。

『旦那樣、お助け下さい』庄吉は苦勞に痩せ窶れた見る影も無い面に、止め兼ねた涙を浮べて側へ寄つた。

『おゝ、不憫さうぢや、見れば年齡も行かぬらしい、これお前、お前には親はあるのか』

『はい』と庄吉は懐へ聲で『お父さんがあるさうです』

『あるさうです』と紳士は怪訝な顏をして

『有るさうですつて可笑しいぢや無いか』紳士は不審の口を瞬つた

『それが旦那樣、お聞き下さい』と庄吉は淚を拂つて身を正した。

『ぢやそれ聞かう』紳士は同情に滿ち滿ちた面持で、庄吉の語り出さうとする話を聞かうとした。

『わたしは生れたのは大阪では無くて、金岡村の者でございます。お父さんは庄左衞門と云ひまして、わたしの五歲の秋、一寸した事から家出をして、何處へ行かれたのか分りません、お母さんはお父さんの家出をする一年前に死んで、今は二人ながら親には離れて居ります。それからは伯母さんの家へ引き取られ育てられて居ましたが、伯母さんが東京へ上つたんでわたしは惣兵衞と云ふ叔父さんと二人になりました、ところが叔父さんは明けても暮ても酒ばかり飲んで居りますので、借金の爲に家も賣り田地も賣つて、もう金岡村にも居られないやうになつて、或夜叔父さんに連られて大阪へ出て來ました、そこで汚い裏町の小屋を借りて、わたしは毎日朝と晚と青物を荷つて賣りに步きます』

庄吉は悲しい自分の境遇を落ちも無く語る心であつたが、此處まで云ふと胸が塞がつて淚が頬と頰を傳つた。

送今關天彭北行次其韻　持地 東嶺

振衣岡上雁鳴秋。萬里此行君莫愁。別語無多只數點。燕京風月足優游。

同　久芳 鐵濤

遙想流沙萬里秋。天兵躍進不回頭。折衝收局在燕北。莫作尋常汗漫游。

同

黃花紅葉滿城秋。飛雨蕭蕭渤水頭。清話高樓閒半日。故人將作北燕游。

送今關天彭之北京　松田 學鷗

一鞭輕騎滿洲秋。山海關邊接馬頭。父老猶存樊噲涉。求教詞客燕閑游。

同　久芳 鐵濤

北劍將尋道義門。儒林今日幾人存。已探分派量深淺。宜泝正流究本源。多恐失談歸駐步。一辭雛思付臨歸。知君得寐扁舟裏。八路風光恤客魂。

同　鄭 萬園

懸崖撒手竟誰依。驛路西風淚自揮。相逢過人原不合。情存知己易相違。詩語洞庭波共冷。遼海雲飛。是行努力須加飯。大雅指輪有時歸。

同　鄭 華陰

歐風東漸勢如潮。醉夢家家也寂寥。萬里關河君獨去。節頭秋色動離瀟。

同

蒼茫白露夜爲霜。遼水燕山道路長。唱罷陽關歌一曲。無人西塞動離觴。

知君才志即天成。亞世遑遑度一生。恰如凄凄風雨晦。竟宵不已雞鳴。

[illegible]其生産費は之にて少の増減ありしも大體に於て[illegible]坑夫は法外の賃錢を受け居るの[illegible]其相場は開戰以來上向[illegible]吸收せらるゝに甚因し銀相場は[illegible]坑を採掘するは今日に於ては收支[illegible]すとも今日の場合此要求を貫徹[illegible]難かるべく結局銀採掘業は金採[illegible]を見るか左なくば銀行の債務に對[illegible]の相場を引上げ難き事情あるを以[illegible]

本紙定價　一ヶ月金六十錢　[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　[illegible]

謹製　模造品御注意　續出に付

オキシパサー

本器は斯界の泰斗マルケ及アラフデーマ氏の發見に係るオキシダイヤグネチズム中の原理を應用したる新器械[illegible]

效力永久にして藥品等の如き副作用なく[illegible]

本品は輸入制限[illegible]

定價金參拾九圓

新校舍十月二十日竣成　新學期開始
財團法人　電機學校
講義錄再版　新學期前に刷成
東京市神田錦町三丁目　電話本局三二五、七九八

地方行政

米價問題に就て　若槻禮次郎
恐慌を來すを怖る　[illegible]之助
物價調節の根本策　濱口雄幸
時論の小說批判　河津暹 博士
須らく官營にすべし　安部磯雄
經濟一轉の時機　堀江歸一 博士
徹底的外米管理論　氣賀勘重 博士
●自由主義か保護主義か　關一 博士
●米暴動の跡を訪ねて　武內[illegible]
●都鄙生活の比較研究　堀川淡水
●米價問題應急の提唱　粟生武右衛門
●米の收穫方策　安藤技師

食糧問題號

本號三限　金卅錢
食糧問題の解決は代用食物の研究に在り　田尻市長
食糧問題を論じて根本的解決に及ぶ　社說
强制買收と米價の過去現在及將來　山崎繁次郎
江戶時代の米價　米國の食料　調節策　騷動餘話
時務提案四種　常食融通をせ　米穀國營論　安全の提唱　國民と食糧問題　米價問題　人生の此日
每月一日發行　一冊卅錢　一年前金參圓六十錢
東京京橋　帝國地方行政學會

東京
竹內ベスト金庫
カタログ進呈
熊平支店

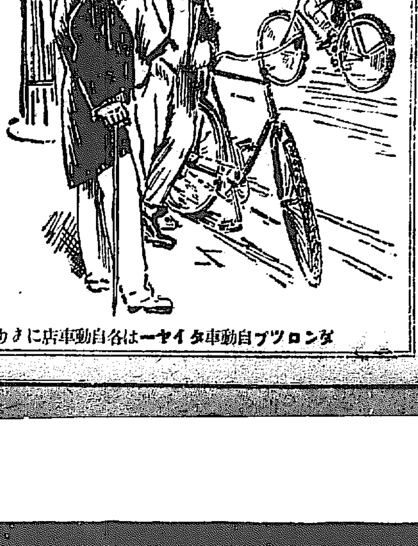
合宿舍監兼夜學教授を求む
學校教師又は官吏其他の士にして當社合宿舍監と爲り夜間二時間社員に普通學を教授する精神家を求む委細來談を乞ふ
京城府黃金町一丁目
不二興業株式會社

廣告
筑前琵琶
東京式
東京チン助
同
當商會は對州桑材[illegible]
福岡市博多下奥堂町八番地
琵琶製作卸
(大)商會

謹啓
昨日冬物新柄よせ裂見切反物大賣出しに際し賑々敷御來店を辱うし難有厚く御禮申上候何分非常に混雜致候爲め不行屆勝ちと相成候段は偏に御寬容の程奉願上候先は略儀以紙上御禮旁御挨拶申上候也
十月十一日
三越吳服店

如何なる難病惡癖も自分で癒せる秘傳書
哲理治療の秘訣
前後二冊完結　金貳圓　送料不要
釜山府大廳町二丁目十七番地　大日本哲學館　朝鮮分館

解雇廣告
辯人小使　曹致善
右の者都合により解雇致し候間自今當會社に關係無之候也
大正七年十月八日
三井物產株式會社　京城支店



Glyconal
佐伯博士の榮養劑
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル滋養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ遂スル事ヲ得。
百錠金壹圓=說明書進呈ス=各藥舖ニ有リ
東京室町
三共株式會社

◇米國務卿通告文

駐米瑞西代理公使に對し

米國々務卿より駐米瑞西代理公使に對し發したる通告文要旨左の如し（華盛頓電報）

獨逸帝國政府の要求に對し回答するに先だち國家の重大なる利害關係に顧み其の回答を簡明成らしむる爲め米國大統領は獨逸宰相の通牒の正確なる意義を確むるの必要あり宰相は獨逸政府が米大統領の一月八日國會に於ける演説中の各條件を承諾し且つ其の講和交渉に入るの目的は之等條件の適用に關する實際方法を詳細に亘り協定するにありとの意を傳へんとするものなりや大統領は中歐諸國の軍隊が聯合諸國の領土内に存在する間中歐諸國に對抗し米政府が連盟せる各國政府に對し休戰を提議するの自由を有せずと思惟す此交渉の誠意有りや否やは、一に懸りて中歐諸國が被侵入領土の所有地點より其の軍隊を撤退するや否やに在り、大統領は宰相が戰爭遂行の任に當れる責任者に代り語りつゝあるに過ぎざるや否やを問ふ事を正當なりと思惟す大統領は之等の質問に對する回答を總ての見地より最も重大なるものなりと認む

米國々務卿　ランシング（署名）

◇土耳其内閣辭職

土耳其内閣は遂に辭職せり（倫敦電報）

◇土耳其求和近し

土耳其より講和の提議ある可く到底永く遷延する事無かる可しとは華盛頓一般の期待なり惟ふに土耳其は米國を尚中立國の如く見做して其斡旋を訴ふるならんと（華盛頓電報）

◇獨逸人續々歸國

土耳其の態度は絶望的なりスタンブール、アドリアノーブル（土國首府）ソフィア（勃國首府）ブダペスト（匈國首府）間鐵道は獨逸本國に歸還する獨逸官吏商人を以て連日滿載逐日其數を增加しつゝあり（倫敦電報）

◇英軍フレノア占領

ヘーグ元帥公報に據れば英軍はスカルプ河の北方にありてフレノアを占領せり（倫敦電報）

◇獨軍一師團降伏

勃牙利に於ける佛軍は獨軍第十一師團を降伏せしめ將官一名旅團長二名を捕虜とせり（巴里電報）

◇日支借款成立

日支新借款三億二千萬圓成立し中二億八千萬圓は事業經營に充つるにて嚴重に日本より監督する事となれり（北京特電）

◇鹽税剩餘金交附

鹽税剩餘金五千三百五十三萬元は六日支那政府へ交附されたり（北京特電）

◇陸軍要路異動

十日午前左の如く親補發表ありたり（東京特電）

任陸軍次官　教育總監部本部長陸軍中將　山梨半造
補第五師團長　鐵道會議々員同中將　山田隆一
補參謀次長　第五師團長同中將　福田雅太郎
補軍事參議官　青島守備軍司令官大將　本郷房太郎
補青島守備軍司令官　同中將　大島健一
補教育總監部本部長　參謀本部總務部長同中將　菊池愼之助

◎京城通關貿易

京城稅關出張所の調査に據り客月中京城出入重要品通關貿易狀況を見るに輸移出品價合計三十八萬四千九百九圓にして輸移入品價合計二百三十二萬一千三百六十二圓を示し之を

▲前月に比較　する時は輸移出品價に於て三萬二千二百餘圓の增、輸移入品價に於て四十五萬九千三百餘圓の減少を來せり而して更に之を前年同期に對比すれば輸移出に於て二十一萬七千四百餘圓、輸移入に於て六十九萬三千七百餘圓の何れも增加を示せり今當月中輸移出入品の主なるものを擧ぐれば輸移出に在りては豆の二十五萬九千七百七十五圓を首位とし牛皮の四萬一千七百二十六圓、大豆の九千七百四十四圓、雜品の七萬三千五百餘圓之に亞ぎ輸移入に在りては例により生金巾生シーチングの廿九萬九千百餘圓を以て

▲其大宗とし　洋紙其他紙類計の十六萬八千餘圓粟の九萬七千五百餘圓、晒金巾及晒シーチングの八萬四千五百餘圓、日本木綿の五萬九千八百餘圓、毛織物の五萬四千六百餘圓、綿織絲の三萬八千餘圓、天竺布の三萬七千餘圓、諸機械類の三萬二千餘圓、小麥粉の三萬八千餘圓等之に次げり而して當月中輸移出入狀況を前月に比すれば米豆は出減を見たるも牛皮及其に於て著しき出增を示せる爲め其の合計に於て增加の結果を見綿織絲晒金巾及びシーチング紙類其他に於ては入增を示せるも生金巾及び生シーチング日本木綿綿及び打綿、毛織物、機械類其他に於て著しく

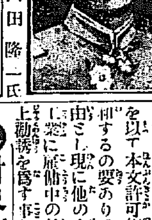
▲輸入の減少　せる爲め其合計に於て入減を示せるものなり今出入重要品價格の主なるものを表示すれば左の如し

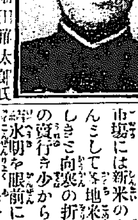
▲輸移出品之部

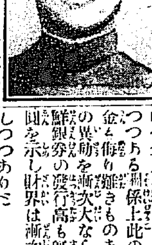
品名	價格（圓）
大豆	九、七四四
人蔘	九五
牛皮	四一、七二六
煙草	二五九、七七五
其他の雜品	七三、五四四（其他數品）

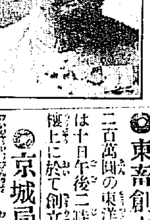
▲輸移入品之部

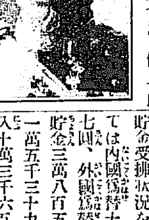
品名	價格（圓）
粟	九七、五七八
綿織絲	三八、四六五
小麥粉	三八、五八八
天竺布	三七、三一四
生金巾及び生シーチング	二九九、一六九
晒金巾及び晒シーチング	八四、五六〇
日本木綿	五九、八六九
洋紙	五七、六四一
諸機械類	三二、三六一
毛織物	五四、六〇三
其他紙	一一一、三〇七
煙草	三九、〇七八
小包郵便物	四七八、六七六（其他製品）

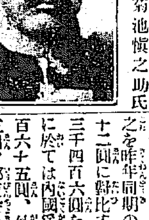

新任陸軍次官　山梨半造氏


補第五師團長　山田隆一氏


參謀次長　福田雅太郎氏


軍事參議官　本郷房太郎氏


同青島守備軍司令官　大島健一氏


同教育總監部本部長　菊池愼之助氏

◎鮮人勞働者問題と當局

近時内地に於ける諸事業の勃興につれ勞力の不足を告ぐるに至りし結果朝鮮に於て鑛山又は工場等に從業せる勞働者を拉去する傾向あり朝鮮事業界の打擊少からざるを以て朝鮮土木建築協會にては内地行き鮮人勞働者募集出願許可に關し其の筋に對し相當取締方を陳情する所ありしが警務總監部にては今回本件に關し各道警務部に左の如き通牒を發したり

朝鮮人勞働者の募集許可に關しては勞働者募集取締規則取扱手續第五條の規定も有り近時内地渡航勞働者の募集著しく增加し一面朝鮮に於ても供給不足を告げつゝある狀況にて之が爲に勞働者の爭奪を見るべき虞あり延いて朝鮮内各種事業の經營に支障を來し且急激なる勞銀の昂騰を誘致するの嫌あれば當分の間更に左の條件を附し處分されたし

一、募集區域二道以上に亘る出願に對しては當部に於て許可の際各部に於ける從來渡航者の數及び勞力需給の狀勢等を考察し其募集人員を部別に依り適當割付制限すべき方針なるに付

一、當部に限り許可の場合に在りても部内の事情に照し募集及び渡航の爲め支障を生ぜざる範圍に於て人員を決定せらるべし

右條件に依れば今回内地より官廳工事請負人使用の鮮人勞働者多數募集方打合せありたるに關し朝鮮土木建築協會より之れが許可に付相當制限方陳情あり幾分理由ある事を以て本文許可條件を以て之を調和するの要ありと認むと言ふを理由とし現に他の土木建築鑛山及び工業に雇傭中の者に對しては募集上勸誘を爲す事を得ずとなせりと

◎財界漸く繁忙

市場には新米の出廻り漸次多からんとして内地米商人の買出も漸く忙しきと同時に奥地の折納頃行き綿布類の賣行き少からず更に各種工事は昨今全力を擧げて其の進行を期しつゝある關係上此の方面の需要資金も侮り難きものあり各地共資金の異動を漸次大ならしめつゝ在るが鮮銀券の發行高も既に八千三百萬圓を示し財界は漸次繁忙の狀を呈しつゝありと

◎東畜創立總會

資本金二百萬圓の東洋畜産興業會社にては十日午後二時より東洋拓殖支店樓上に於て創立總會を開けり

◎京城局爲替受拂

京城郵便局に於ける九月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに受入に在りては内國爲替十三萬六千五百二十七圓、外國爲替九百十二圓、郵便貯金三萬八百五十圓、振替貯金百一萬五千三十九圓、遞信官署歲入十萬三千六百三十八圓、總額百二十八萬六千九百六十六圓に上り之を昨年同期の百六十六萬三百七十二圓に對比すれば三十七萬三千四百六圓を減じたり又拂渡しに於ては内國爲替二十八萬九千二百六十五圓、外國爲替千九百八十五圓、郵便貯金二萬七千百八十六圓、振替貯金百七十七萬五千五百七十一圓、遞信官署歲出二萬七千八百三十四圓、總額二百十二萬一千八百四十一圓を算し之を昨年同期の百八十萬八千五百三十九圓に比すれば三十一萬三千三百二圓を增加したり以上の外運轉爲替資金等の出納額を加算せば昨年九月分五百六十一萬七千百十五圓本年九月分六百七十三萬八千六百六十圓にして通計百十二萬一千五百四十五圓を增加せり

◎持地長官發期

持地遞信局長官は既報の如く今回支那方面へ出張を命ぜられたるが來る十四日夜出發すべし

◎渡邊法院長出張

渡邊高等法院長は來る十五日頃裁判其他の事務視察の爲め忠清南北道及び全羅南北道へ出張すべしと

◎院線驛名改稱　來る十六日より鐵道院線九州線『苅田』停車場を『大平下』停車場と改稱する旨鐵道院より滿鐵京管局に通知ありたり

◎平井稅關長赴任　今回總督府度支部專賣課長より仁川稅關長に榮轉せる平井三男氏は各方面への挨拶を終り十二日赴任すべしと

◎岡山視察團　岡山縣學事視察團一行二十二名は既報の如く十日朝入京山本旅館に投宿せるが團員氏名左の如し

▲武田魁助▲新谷淑▲西崎韶好▲那須信治▲湊隆定▲榮部博▲石原太嘉治▲魚山楠太▲北畠惣三▲吉岡傳平▲諸辨平▲高見興作▲龍長萬八▲宮村太之進▲金岡三九郎▲高田泰一郎▲山本點倫▲友金愍吉▲池田唯男▲安東康之▲武地誠一▲三宅壽藤治

人事消息

▲子爵久松定謨氏　十日午後八時京城より入京大倭樓へ
▲與田省三氏（朝鮮總督府事務官）　十日夜入京
▲竹内惣三（江原道技師）　同上
▲津村哲四郎氏（咸北道技師）　同上
▲桑原龍十郎氏（靜岡縣遠江織物同業組合長）　同上
▲植田太平氏▲岡本熊十氏（遠江織物同業組合評議員）　同上
▲平尾金太郎氏▲下倉弘一郎氏▲加藤久郎氏（以上三名同組合員）　同上
▲本田近造氏（神戸貿易商）　十日夜入京天眞樓へ
▲櫛部荒熊氏（東京鐵業家）　同上
▲錢條之助氏（水原勸業模範場技師）　同
上巴城館へ
▲柴田鈴三氏（平壤成吉商會主）　同七癸館へ
▲元江原道長官　十日退京
▲近藤政次郎氏（日本鋼管株式會社重役）
▲花輪熊次郎氏（釜山商業會議所書記長）　同上
▲中西喜久雄氏（鮮銀司事）　同上

◇大連より

文學士　和田清

十月一日朝大連より鴨緑江の濁波に浮べて義州の下游威化島附近を探り二日、泰天見、兩日の後六日大連より金州に到る、金州城外東南門外の廟の内に一碑あり萬曆三十五年明の趙楫撰する所の重修記を刻す、中に壬辰の役を論じて『今之邀倭何多故也、倭奴犯朝鮮國、朝鮮國家鏡毀百萬、碧蹄鴿翊、鴨綠波腥、催東中鳴劍去、而高句麗之元氣已耗不能支、此豈予將也』とあり、更に李如松の陣殁を説いて『大將軍建旗征討、威勢不振、俱々果卵危、北豈予將也』と曰ふ一碑愛證社稷氏、破巢の兒れて完きに能はず、今寂寞の當時を想察せしむるに足る敢て寫して以て報ずる所以なり

◇我國民活動の能率を增進せしむる方法（五）

嘉納氏の講演

所謂唇齒輔車の關係にある日本と支那が萬一不幸にして互に相疎んじ、却つて亞米利加とか英吉利とかに極めて緣の薄い國と仲善くするといふ樣なことがあつた場合には其處には必ず相應の理由が無くてはならぬのであつて是れ程遺憾なことは無い。私が斯く云へばとて決して日本と支那と提携して

▲歐洲諸國に對抗　し歐米人を敵視しようと云ふ意味では毛頭無いのである、假にさう云ふ無法なことがあつたとしたならば何うであらうか、如何に日支兩國が結束して起つても世界を敵とすることは不可能である、其結果も亦云はずして明かである。是は獨逸の例を見ても首肯かれるであらう。今日獨逸の叱吒乖れ加減は何うか誠に憐れ果敢ない運命に迫りつゝあるではないか。日本は今日に於てこそ獨逸を敵として戰爭して居るが將來は世界中何れの國に對しても親睦を保つ樣になることを衷心希望する次第である。さうして今後國際間の競爭は一層激烈の度を加へ各自商工業の發展に力を注ぐ結果其關係は益複雜になる一方である、從つて紛議の種は愈增加するであらう、茲に於てか吾々日本人は

▲斯る世運の趨向　に順應して帝國の使命を全うする爲めに其双肩に懸る負擔の頗る重くして且つ大なるものであることを了解すると共に、一大覺悟を以て奮ひ起たなければならぬ時機に際會してゐるものであることを信ずるのである。機宜の措置として或は幾つかの國と提攜して激烈な競爭場裡に向はなければならぬ樣な成行に立到ることもあるであらう、これは云へ只だの一瞬時と雖も日支親善の根本義は絕對に度外視することの出來ぬものである。さて此基礎の上に立つて世界の列強と伍して親交を持續しようと思へば其先決問題として何うしても日本の文化が進み國が富み兵は强くなければならぬ。彼の國は劣等國だ、吾々の仲間に入れるべき國ではない、と云ふ工合に頭から卸しむべき資格を認められなかつたならば何うであらうか

▲到底對等の交際　は出來ない。交際が出來ぬ許りでない、斯うした國際間の弱者は事々に頭を打たれ鼻を打たれて其前途には殆んど光明を認め得ないと云ふ狀態に陷るのは必然である。英吉利が日本と同盟を結んで東洋方面の形勢には左程心配することなく或る部分に關しては日本に委してゐるのも、日本に英吉利から信頼せらるゝだけの素地があるからである。今後平和克復の曉日本をして有利な地步を占めさせよふと思ふならば、一層我文化を進め兵を强くし國の富を增進せしめなければならぬ。云ふ迄も無く將來の世界の形勢は一國の孤立を許さぬのであるから第一に支那と相提攜へて東洋の平和を保ち爾餘の國と出來るだけ親密にしなければならぬ。是が日本の立場として最も必要のことであると信ずる。

◇鳥瞰雜俎

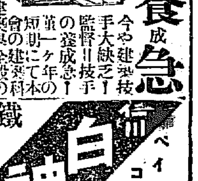
先程獨逸で徵兵年齡を延長した時兵役に徵られてゐる家の老人や女房達は仕事を休めて往來に集まつて囂々と不平を鳴らした▲すると之を眺めた連中が面白がつて戸毎の窓からヒンデンブルグやルーデンドルフや其他厳めしい軍閥派の石版畫や寫眞を競つて投出した▲群衆は日惜しげに其等の畫や寫眞を悉く引剝いたり踏み破つたりした▲中には罵倒しつゝ餘り長い間やつたので遂に警官に認められて拘引された者もあつたと▲此連中が今度も愈大騷ぎをやつてゐるのだらうから流石の軍閥もやり切れまい▲支那人は澤山な家鴨を暗い處に押し込んで饂飩粉を無理に口中に彈き込み人爲的に肥大らした上之を殺して料理する▲其の又家鴨を料つた處は頗る美味で實に天下一品であると西洋人が非常に賞讃すると云ふ話を聞いた某史家は曰く▲昔羅馬にも之と同一の料理があつた羅馬の亡滅は生活の驕奢に原因すると云ふから支那人も省みる所がなくてはなるまいと▲首相官邸の新聞通信記者招待席に例の大塊遞相首相の挨拶振りを評して『挨拶の人は原頭の尾花哉』と駄句つた▲田中陸相が側から見て『原頭の尾花は』何の事かと聞くと大塊翁ソット首相を指し▲『あの白い頭を見給へ尾花の樣ぢやらう』は好かつたが陸相が『矢つ張り分からんね』で大塊翁がウハッハッハとやるとは一同で大笑ひ▲五箇年間浪人して世間學を修得したと許り萬事に如才ない岡新警視總監は先年自ら一雜誌を監督して居た事があつた▲其際米國の民主々義の論文を其儘翻譯して掲載したのが祟を爲して雜誌は發賣禁止の厄に逢つた▲山本内閣の警保局長だつた君も之には閉口頓首し隨分當局に談判も試みたが遂う〳〵失敗した▲今でも此の話が出ると岡君は頭を搔々『イヤ好い活學問をしたのだよ』は苦しい〳〵

◎九月京城氣象概況　平均氣壓は七百五十九耗八にして[illegible]……斷じたる際同日九時七百四十八……五八昨年に比し〇度七……平年に比し……分平年の四割二分量に相當する……十日も平年より一日多く……

仁川米豆取引　後場中限……

新聞課題募集規定……

建築手技養成急
今や建築技手大缺乏！監督技手の養成急！第一ヶ年の短期にて本會の建築學全般の科目を得させ建築業士の肩書を授け業學會員證券を得させ現場監督技術者に採用す▲會員大募集▲此際見本付規則を呈す▲帝國工業教育會
込▲東京九段



五拾圓で呉服屋
資本僅かに……
開業さして、確實、有利、御婦人でも老人でも獨立する青年諸君にも全國一町一村に一名限り特約店規定呈す、中込多數至急
東京九段　久保濱織物　チエンストアー　地方卸部

第二次特別大興行
蠹に紅葉先生作金色夜叉を上場して前代未聞の大盛況を呈し候事全く各位の御愛顧と厚く御禮申上候引續き今回上場すべき續金色夜叉の大撮影愈々完成
當十月十一日より

朝鮮總督府遞信局購買競爭入札
一、四百磅鐵線外一種
詳細十月十一日ノ本府官報ニ在リ

やまと新聞所載●長田先生大傑作
續金色夜叉
全二百六十八卷
前篇ヨリ以上の努力と巨費とを以て此文壇の大作を完全なる模範的一大寫眞に完成すべく如何に大規模の撮影を爲せしか第二次特別興行たる此の續篇を御清覽の程願上候
尾上松之助一座大車輪
舊劇　同向小僧鼠　猫塚　全三卷
實寫　高野山　全景
富の道しるべ　山縣五十雄村上唯吉共著　假十五錢郵稅二錢　京城太平通振替京城三一〇　京日代理部
大正館

白神洋行
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコツプ、シヤブル、帶革、ロープ、機械、工具、附屬品其他
鐵、鋼材、浪板、平板、針金、洋釘
新田帶革總代理店

秋天高く
築城せる黃金館
新派劇　瀧夜叉姫と將軍太郎
活動寫眞　タタース
新派悲劇　輪廻の絆
愈々十一日より

最新刊
△吉村銃獵と趣味　定價四拾錢送料
金剛山探勝案内
會計の智識……
世界の開明の庫……
應用商業簿記……
湖沼めぐり……
鰻物……
此の蘊……
朝鮮の冬と防寒法……
わが愛兒の爲め保険……
千鳥……
文藝新語辭典……
英語は斯の如く……

京日案内
申込後掲載中止の節は料金不返戻
六回以上の廣告申込に特に割引
御照會は返信附にあらざれば御回答致さず
▲代診生入用　希望者は履歴書持參　平壤大和町
◎店員入用　年令十六七才迄四十四五才迄市内に身元保證人を要す　仁川新町　野田紙店
◎電話讓り受けたし　電話二七九四番　平井へ
子供入用　年令十五六才ノ者二名小學卒業程度本人來談あれ保證人を要す　明治町二丁目　唐川呉服店
▲餅職人　從來經驗ある者及び見習職人共數名入る希望者は本人直接至急來店あれ　京城本町壹丁目　三好野
◎店員入用　但運送業に經驗あるもの希望者は履歴書携帶來談あれ　京城北米倉町一丁目　平田運送店

遞信局地圖
定價一圓

大阪屋號
京城本町

滿天下の賞讚を博したる人蔘エキス

陸軍御用
朝鮮高麗人蔘（尾張産）直取引貿易商
京城本町一丁目　津村兄弟商會
人蔘エキス本舗　京城本町一丁目　電話一四八〇番・振替京城三三九番・取引銀行百三十銀行
京城本町二丁目　津村兄弟商會支店
京城本町四丁目　山岸天佑堂　大邱支店
京城本町二丁目　木村藥舖
北島藥舖
品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス

内科　胃腸病
診察夜九時迄
石川醫院
京城本町一丁目　電話二三七二・二九一

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
株式會社　漢城銀行
京城府南大門通壹丁目十四番地
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
支配人　石鎭衡
支店　水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所　釜山鍾路、東幕
電話長六〇二番

藥種賣藥卸商
北島藥店
仁川本町　電話二三四・振替京城六七番
京城本町　北島藥店京城支店　電話七六一番

醫化學器械一式

醇良無双清酒
衛生無害品質無双
發賣元
京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一番
釜山幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

◎京城地方監督社員招聘
月俸五拾圓以上及旅費支給希望者は京城本町巴城館内小田主事へ履歴書携帶至急面談アレ
人格ある三十才以上の鮮人通譯數名採用希望者履歴書携帶本人來談□面會時間午前中、午後七時より
福德生命保險株式會社
社長　川崎芳太郎
主事　小田太喜三郎

從軍寫眞畫報

從軍記者　金谷眞撮影

（一）九月廿五日午後一時大井第十二師團長はブラゴエチエンスクに入り（向つて右）大井中將（左）擧手の挨拶をなすは黑龍州の軍事王腦者ニキーチン[illegible]（二）[illegible]軍の手に[illegible]（三）[illegible]軍に應援の爲[illegible]

◇蘭屋殺しの情婦　忠信の秘密（二）　影のやうに附纒ふ男

病院では旦那都野川さんで通つて居たが夫でも時々歸る事もあつた　聽て又他の役者が現はれた

惚れた弱味で

萬端女の世話を焼いた紅屋からは必要品丈を

藝妓忠信が明治町の某病院に入院した其日から影のやうに女に附き纏つてる三十四五歳の男があつた。抱へ主紅屋からは女の必要品を病院まで屆てくれた以外にはこと云つて入院の手配り萬端を心配してくれるでもなかつたが、其の男は萬事引受け顔に女の世話を焼いてゐた。その男は鼻下に髭を蓄へ姿態のいゝ男で忠信の旦那都野川さんで通つてゐた。何故都野川が忠信の入院早々から萬端の世話を焼いて居たかと云ふに、第一義は勿論惚れた弱味に在るもの、他に今一つの理由があつた。

抱へ主の心配

病氣中酒は飲む煙草は喫ふ男とは巫山戯廻る

それは忠信が明治町の某病院に入院する以前に同じ病氣で京城病院に入院して居たが、我儘放埒な彼女はいつかな醫師の命令を守らず看護婦の注意も鼻であしらひ、酒は飲む、煙草は喫ふ、男とは巫山戯るこ云ふ始末。元より病氣に良からふ筈がなく、何時迄經つても經過が捗々しくない。病人の方では窮屈なお座敷で勤めるよりも結局病院の病床の上の巫山の夢でも見た方が賢いと、洒々として病人らしくない日を送つて居た。斯うなると抱へ主紅屋の方でも大金掛けた女に遊び半分の病氣をされては堪らぬとあつて病氣半ばに退院させることになつた。

都野川の計ひ

紅屋が入院料を惜むなら自分の腕で入院する

忠信は業が煮ねてたまらず、よろしい紅屋の方で入院料を惜むなら自分の腕で勝手に入院して見せると都野川の懐中を當てに相談を持ち込んだのである。首つたけ惚れた女の言ふことだ一も二もなく肯いた都野川は早速明治町の某病院に入院させる役取りとなりさてこそ自分が心得顔に振舞つて居たのである。都野川は斯うして情婦忠信の入院當初から夜晝となく病室を訪れるのであつたが、家を構へた亭主としてさう〳〵入浸りに女の病室に詰め居るわけにも行かず時々は自宅九州旅館に歸つて行くこともあつた

快活な美男子

彼は用心深く病室を訪れた女は非常に喜んだ

ところが忠信が入院してから間もなく三十歳の一男子が其の病室を訪れて來るやうになつた。其男は當時京城壽町中川藥業事務所に勤めて居た丸尾源次郎と云ふ男であつた。丸尾は生々とした大きい眼と肉附きのいゝ、頬に何時も快活な微笑を湛えて女を訪れて來た。初め幾度かの訪問には來客の有無を訊して用心深く病室に入つて行くのであつたが、斯んな時女は有りつたけな嬌態を以て迎ふるのであつた。

耀く女の瞳!!!

丸尾は何故病室を訪れ彼女の瞳は何故輝やく

丸尾と云ふ美男子は何の爲めに忠信の病室を度々訪れるのであるか丸尾を迎ふる時の女の瞳が晴々輝くのは如何な意味が含まれて居るのか、記者はそれを說明する前に今一人の男を此の筋書の中に加へねばならない。

◎警部の妻が女學生　寄宿に入つて勉強を志願

進明女子高等普通學校技藝科に此頃入學せる奇特なる一女學生あり同人は某警部の妻女にして五歳の男兒あるに拘らず良人の許諾を受け同校寄宿に入舍し校則通りに勉強せむことを申込みたれば同校にても其志しを諒こし入舍を許したるが良夫たる某警部は學校當事者に對し『今後は女子も國語を解し一通りの教育が必要なれば當分家庭の不自由位は犠牲として三四年間妻の教育を依賴したし然し幼兒同伴の入舍は學校に於ても迷惑なるべく學校門前に一家を構へたれば特別を以て寄宿生同樣の監督を受けたし』と申し出でたりと

◎『乃公の首が五萬留では餘り安過ぎる』と　平氣なセミヨノフ

八人の部下を率ゐ三發の爆彈を携へてチタ兵營を乘つ取る　彼の今日あるは此膽力の賜

北滿軍從軍記者　早川盤溪

セミヨノフの剛勇な事はその風貌の堂々たる處を見ただけでも首肯されるがその勇敢な事は驚く許りである、過激派政府は彼の首に五萬留の賞を懸けて居るし反對派の刺客が尠くないにも拘らず我々の同乘した特別列車に乘込んだセミヨノフは、何等武裝もせず護衛もつけずにプラットフォームに降りたり

▽窓から全身を　暴露して平氣で居た

哈爾賓の如き危險地帶ですら副官二人を連れたまゝ自動車を飛ばすと言ふ風であるから黑木大尉や森僚は非常に心配して、自重するやうにと忠告するが平氣の平座で五萬留位では安いもつと値上げせねば貰れないぞと言つてる滿洲里方面の戰闘の際の如きも麾下の軍が敗北しさうなのを見て、齒嚙みをしながら自ら

▽馬を最前線に

進めて號令するなどは餘り剛勇に過ぎる位である、反過激軍を起す前セミヨノフがコルニコフ軍と別れて西伯利に歸つて來た時は八人の部下と三發の爆彈を持つて居たに過ぎなかつたが、チタに入るや否や直ちに兵營に乘込んで、數千の兵の武裝を解除せしめたのを手始めに滿洲里から東清力者たる事を得て、威令秋霜の如く嚴として行はれつゝあるのも、皆彼の膽力に依る處である、彼のガイダの如きもセミヨノフの一喝に遭つては怎うにもならず謝罪した事もあるが、這度セミヨノフが浦鹽に

▽或る堅い決心

と共にガイダを捕縛せしめやうとして、取逃がした事オムスク政府の有力者をチタで投獄した事などは如何に彼の勢力が旺盛になりつゝあるかを語つて居る、西伯利の時局が今後益々紛糾し、錯雜するに從つて彼の一擧一動は大勢の上に影響する處大なる可從つて彼の兵權が擴大さるゝに從つて將來の活動は刮目に値する

◎大祭の餘興　許可を受けよ

來る十六日より三日間執行さるべき京城神社祭典に付き行列其他の餘興は豫め警察の許可を得ざるべからず尙ほ左記各項は餘興取締上禁止せらるべし

一、外國人の服裝動作を爲し風俗を害するの行爲ある假裝
二、官吏軍人其他一定の制服若くは之に紛らはしき假裝
三、男子の女裝、女子の男裝其他卑猥なる假裝をなし風俗を紊すもの
四、其他異樣の扮裝亂暴動作を爲し往來の妨害となるべきもの
五、山車其他の行列にして交通其他公安を害する虞あるもの
六、醉興に乘じ公安風俗に害あるものと認むる餘興

◎平壤の殺人　迷宮に入る　搜査方針一變

去月二十五日平壤賞金川六一雜貨商新家仁太郎方にて主人の不在中其の妻せんが何者にか慘殺されし事は當時の紙上に報じたるが其後平壤署にては萩原司法主任を初め寺田、賀松、中村、谷重各刑事及び司法係の各巡查殆んど寢食を忘れて犯人の檢擧に努め居れるが未だに其手懸りなく殊に證據としては兇行の現場に遺棄しありたる朝鮮鞋の外何物もなく事件は愈迷宮に入れるが同署にては何事か期する所あるもの、如く今回搜査方針を一變したれば或は案外早く下手人を逮捕するに至るやも知れずと（平壤）

◎鮮人勞働者の　內地行を制限　して下さいと『朝鮮土木建築協會』から總監部へ陳情　◇總監部では聞き屆けた

京城長谷川町朝鮮土木建築協會々長松本勝太郎は九月卅日總監部に對し鮮人勞働者內地移出に關して左の如き陳情書を提出せり

陳情書

難聞する處に據れば今回內地各種工場會社に供給の目的を以て鮮人勞働者約六千人を募集の爲め渡鮮したるものあり目下其手續中なりと云ふ之に就き本協會は朝鮮諸事業の盛衰に關する重大問題として遂に本協會議場一致の決議に基き謹んで茲に陳情書を提出仕候

主旨

今日に於て多數の朝鮮人勞働者の內地移出は左の理由に因り朝鮮各種事業經營上重大なる問題に付何卒特別の御詮議を以て工場所在地及び土木建築工事の施行方並に其隣接地域に於て使用する目的なる同種類の人夫を絕對に許可せざる樣に只管奉懇願候

理由

（一）近時朝鮮內事業勃興に伴ひ勞力の不足を告げ各企業者は多大の打撃を蒙り各自人夫の爭奪を行ふ狀態に在りて事業經營上困難を痛めつゝあるは主として勞働者移出の結果なり

（二）從來の經驗に徵すれば移出人夫は無職遊民に非ずして熟練なる人夫を誘引するを以て其補充の人夫は技術熟せず能率大に減じ事業の遂行を阻害せらるゝ事亦た多し

（三）勞力缺乏の結果西鮮地方に於ては支那勞働者を誘致するの止むを得ざる[illegible]悲境に陷り其收支に勉め居れども時恰も物價騰貴の爲め賃金の騰貴を見るに至り[illegible]を遂するに至らず仍し其補充に困難を感ずるにより朝鮮勞働者の移出を制限すること最も急務なり

（四）人夫募集を行ふや直ちに勞銀の騰貴を告げ結局高價の賃金を支拂はざる可からざる狀況に陷り事業經營上多大の苦痛を感ず

（五）之を要するに朝鮮に於ける勞働者の缺乏せるにも拘はらず勞働者を誘致するに於ては各種事業施設に非常の影響を來さしめ到底事業遂行を完うし能はざるを恐る朝鮮の無職遊民を收集し內地に送りて一定の職業に就かしむるは最も必要の事項なれども現在勞働しつゝある人夫を誘引して移出するが如きは朝鮮開發上不大の關係ある事なれば人夫募集許可に在ては其使用の種目を限定し當業者に打撃を與へざる樣の方針を御採用あらん事を懇願し奉るところに候

右に就き總監部に於ては其の陳情を容れ全鮮各道の警務部に宛て人夫募集の許可に關する通知を發したりと

◇悪戰苦闘の十年間　朝鮮救世軍創立の思出

一層事業の發達に努力したい　救世軍司令官■■■■フレンチ大佐談

市內西大門町救世軍本營にては十一日十週年記念式を擧行する筈なるが同軍朝鮮總司令官フレンチ大佐は語つて曰く

朝鮮の救世軍は今から十一年前英國倫敦にある救世軍萬國本營の總司令官ブラーマン、ブース氏が計畫し大佐ホカース氏が全責任を負ふて創設する事になつたのです、創立の始めには充分の用意もなく市內西大門外なるホカース大佐の自宅に

▽本營を置いて事業を始めた當時の鮮人は我等を歡迎するどころか一種の嘲笑と誹謗を以て我等に對する事も尠くなかつたけれ共我等は只熱誠を堵こし勇氣を鼓舞し困難を排して事業を繼續しました、其結果二三年も經たない中に救世軍の事業の性質はよく一般に徹底し從つて

▽歸依者も日增に多くなつたので我等は茲に一層の勇氣を振つて事業の發展を計つたのであります。其後は幸ひに傳道事業も順調に進捗し大正四年には西大門町に今の本營を建築したのみならず今日では救世軍傳道館の數も京城と地方を合せて

▽百七十に達し此處に毎週禮拜に集まる者實に一萬一千餘名もあり幼年日曜學校さへ八十餘箇所を算すると云ふ盛況である十年前西大門外の一隅で事業を始めた當時の事を回顧すると實に感慨無量であります、只今の處京城の外忠南、慶北、全北等の地方には幾らか事業の

▽基礎も築かれてありますが我々本來の目的から云ふと前途は遼遠であるから今後一層努力して傳道機關の設立と其の發達を計る事は勿論進んで女子幼年に對する精神上の救濟慈善事業の擴張にも染手したいと思ひます。殊に墮落し往く下層社會の鮮人を根本的に救濟すると云ふ事が朝鮮救世軍の最も重なる

▽事業の一であります此は出來得る限り鮮人其自身が自治的に經營するやうにしたいと思ひます。最後に目出度い記念日を迎ふるに當つて衷心遺憾に堪へないのは朝鮮救世軍の創立者たるホカース大佐が數年前英國に轉任した爲今日の盛況を見る事の出來ないことです

◎汽車の暖爐は　來月一日から使用

朝鮮に於ける汽車のストーブは愈來月一日から使用する事となつた然し釜山發午後二時五十分西大門發午前七時寄四分及び西大門發午前十一時二十分發釜山着翌日午前四時十分着列車は本月二十日から使用する

◎共進會鐵道出品

十月三十日より大邱に於て開催せらる可き第二回慶北共進會に對し滿鐵京城管理局よりの出品物は機關車模型及び線路圖等の外圖表寫眞等に決定目下其々準備中なりと

◎高女修學旅行

京城高等女學校にては十二日各學年修學旅行をなし一年は水原華山の見學二年は開城三年は稷山金鑛四年は洗浦牧畜場の見學をなすべしと

◎傳染病減少

京城府內に於ける赤痢患者及びパラチブス患者は最近に至るまで尙一日數名を出し居りたるが府廳に於ては專心豫防策を講じたる結果昨今に於ては殆ど皆無にて數日に漸く一名位の患者を發見するに過ぎざる由にて例年に比して著しく減少の觀ありと

讀者文藝（一等には五十錢の賞券を呈す）

▲川柳課題『舌』

◎舌の根がかはかぬうちに又無心　（一等）　仁川本町四丁目下方　岸田鷺城
▲舌打ちをして市話切り　仁川　詩腕坊
▲八方へ二枚の舌を使ひ分け　安川　蔽六庵
▲卷舌の兄い案外弱い奴　京城　曲浦生
▲誤魔く袂の內で舌を出し　上城　翠村
▲舌三寸大の男を丸め込み　城　吞海和舍
▲梢に手をやあ舌な其一官　龍山　降女
▲無鐵砲牛肉鍋に舌鼓　京城　春暉

ミツワ雪の雫

芳香健膚藥　肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする

本劑は皮脂を除き、硬化せる皮膚を柔滑ならしめ、肌理を細かにし、皮膚の血行を進めて其の色を艶麗ならしめ、健全なる皮膚の新生を促すが故に、之を常用すれば、皮膚を強健清潔になし其の眞美を發揮せしめ、皮膚乾燥、龜裂、皸裂、凍傷、雀斑、面皰、火傷等に奏効し又白粉下に用ふれば、白粉ののびを良くし、生彩ある化粧を施すに好適のものなり。

定價　金四十錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

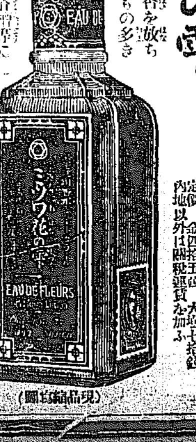
（現品縮寫圖）

ミツワ花の雫

芳香馥郁たる家庭用肌着香水　オー・ド・フラール

從來の家庭用香水には徒らに強烈なる香を放ち汚點を殘すもの多きに反し、ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、衣服等に振掛くれば、下着、寢具の敗布等に振掛け、洗面器、浴槽等に用ふれば、清凉の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

定價　金四拾五錢　大壜　金七拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ



（現品縮寫圖）

ミツワ月の雫

毛髮の營養料頭髮用衛生香水　ヘーヤ・ローション

優良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適するミツワ石鹼を以て毛髮を洗滌せる後此のミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり、故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の營養料頭髮用香水なり。

定價　金五拾錢　大壜　金八拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

ミツワ椿油

毛髮の衛生に適する新鮮純良の椿油

●ミツワ椿油は冷壓法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾出した新鮮純良な椿油で、普通の椿油と異り毫も苦味を含まず、平常此ミツワ椿油を使つてゐると『理想的滲透性不乾性油』と云つて毛髮に浸込む力が強いから、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸する結果、漂白と云つて、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂ひを除き、毛髮の發育を助け且つ色黑く艶を麗しくし、裂毛、折毛などの憂ひは決してないのである

定價　小壜　金貳拾五錢　中壜　金參拾錢　大壜　金七拾錢　罐入五合入　金三圓貳拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

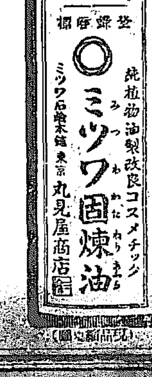
（現品縮寫圖）

ミツワ固煉油

本邦人に適する理想的改良コスメチック

定價　金貳拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

本品は最良無比のミツワ椿油を基礎とし、温雅なる芳香料を加へたるものにして、在來のコスメチック或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髮を汚さず毛髮の發育を助け榮養を良くし其色澤を漆黑艶麗ならしむべき實用的美髮料なり。



（現品縮寫圖）

ミツワブリリアンチン

ミツワ椿油に馥郁たる香水を配合せる模範的美髮料

本品は●ミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀香氣温雅の香水を配合せるものにして振盪して用ふれば毛髮諸症の禍原を除き、更に毛髮の營養を良くし其の色澤を漆黑艶麗ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與ふる毛髮の眞美の發揮に最要の模範的美髮料なり

定價　金參拾錢　大壜　金五拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

妻の心 百十七

十八の八　小林蹊月作　武内桂舟畫

『あのそれでは旦那樣、妾のお願ひをお肯き入れ遊ばして下さいますんで……』と、お俊は、地に墜ちた熟柿が、再び樹の枝に止つたやうな意外の喜悦を湛へた。

『嘘を云はんよ。乃公はお前の忠實な心掛に免じて、何は兎もあれ、禮子に一度丈けは會つてやる氣になつたよ。』

『まあ、何と云ふ難有いことで御座いませう。では旦那樣、妾は一歩……あゝ、這麼時こそ飛行機に乘つて行く事が出來たら、什麼に迅速いことでせう。』

お俊は、斯う云つて、久三郎より一歩先へ根岸の待合を辭し去つたのである。

『思へば、正直な奴だ。乃公に世間へ迄まで貶はされたにも拘らず、その時の事なんか、露ばかりも怨みがましい事は言はんで、一心に只禮子の身の上ばかり心配して居る所が可愛い。』

所謂赤心は鬼神をも泣かしむるの譬ひで、久三郎は、眞個道理以外にお俊の赤心に動かされたのである。併しながら、間接には又、久三郎それ自らの現況が、然うした良心の閃きを見るべき自然の導きとなつたのである。お芳の事、駒子の事、考へても慨慨の種ならざるはないが、禮子の不義問題ばかりは、お俊が誠實の物語りに依りて、悉皆瘡痍の後の晴天の如くに霽れ渡つて見ると、天上天下禮子以外には、只の一人も眞實の味方はない事に歸著したのである。利益の爲め、虚榮の爲め、政略の爲めに、味方らしく裝つて居る味方は、世の中の女のみでなく、政黨の關係者にも實業界の交友間にもうよ〳〵として居るのであるが、いざ關ケ原の一戰に及んで、財產の大部分を捨てゝも命を捨てゝも、自分の味方になつて呉れる人間があるか無きかを數へて見ると、遺憾ながら甚だ心細い限りだ。今お俊の云つた話に一點の虚飾や詐略がないと爲れば、妻の禮子ばかりは、正しく自分の爲めに、財產も命も殘らず投出して、そして、眞の夫妻としての幸福を全ふすべく希圖して居たものに違ひあるまい。頑固ながら、久三郎は、初めて其處へ氣が附いたと同時に、お俊の懇請を容れて、癡狂の禮子に一目たりとも遇つて見やうと心を決した次第である。

久三郎は、奮勵一番珍らしく伸好しの酒を切り上げて起ち上がつた。そして、歸りの身仕度を取急ぎながら、女將を呼んで自動車を命じた。自動車は、十數分の後、例の威勢好き響きを發てつゝ、前の横町の出口にまで横着けせられた。

それへ飛乘つた時の久三郎は、自分ながら自分の身體が借物のやうな氣が爲た。何となれば、久三郎は、此の三四年來の長い月日、禮子が眞正に自分の妻であつて、今日こそはその妻の顏を見るのであるといふやうな優しい眞面目な良人らしい良人の意志を抱きつゝ、駿河臺の自邸へ立ち歸つた事は、只の一度もなかつたのである。何日でも暗いじめ〳〵した洞窟の奥へ潛り込むやうな厭な陰鬱な氣分で、我慢に我慢しながら歸邸するのが普通であつたが、それも萬已むを得ざる場合の外は、能ふ限り、用事を託けたり、詐はりの電話か電報を利用して、外泊がちに日を送つてゐたのである。そして、口癖のやうに幽靈のやうな女だと禮子を罵倒し嫌惡しきつてゐた彼が、今日ばかりは、本統に禮子の顏を見るのを目的として歸るのであるから、何處となしに精神の縋り付かないし、尻の据わりも穩かでない。實は氣恥かしさもその大部分を占て居るのである。道を急ぐが爲めに、自動車を傭つたのには違ひないが、餘りにその速力の過度に失するやうな憾みさへ一面には感じた。

何事をも知らぬ運轉手は、唯だ顧の多からん事を望むが爲めに、全速力を盡して驀地に急いだ。根岸から駿河臺までは、實に十分と二三秒を費したのみである。今將に發町の角を曲らうとする時、久三郎は、不圖自分の方がお俊よりも先かも知れんと氣付いたので、慌たゞしく運轉手に聲を掛けて、少時進行を停めさせたのである。

女子の運動

▽手毬遊びは身體全體の運動になる

女子の運動に就て特種の研究をして居る某醫官は語る『そろそろ運動の季節になつて來ました、此間德島縣の女子師範學校ではマラソン競走を催し十三名の負傷者を出だし、大分教育者並に父兄の間に問題になつてゐるやうですがマラソン競走の實質如何は姑く措き、此れを女子にやらせるといふのは少々考へものである、近頃

◇女子の 體育に獎勵といふことが大に唱道されて各學校でも熱心に奬勵して居りますが、其方法に就いて云へば各種體操は申すに及ばず、護身術などゝ云ふ武術の範圍にまで立入つてゐるやうです、私も女子の體育奬勵に就いては絶對的贊成者でありますが、此の武術に近い運動を女子に課せしむるよりは更により以上の適當なる運動方法があると信じます、それは

◇外觀も 女子に相應しく而して自然的に智識の啓發をすべく、グラウンドや道場を用ひずに立派に家庭で出來る運動です……昔から兒女の樂む遊戯に近い……遊戯となつてゐるお手玉や手毬などは尤も有效である、お手玉などは手も頭も一緒に働かせるのだから指先の仕事の多い女子には最もよろしい、而して綻びたら縫ふといふことが自から裁縫の稽古にもなる、殊に毬突きなどは身體全部の運動にもなります、又闘球盤などは種々の計數やら

◇數字に 關する交渉が多いから單調なる女子の頭腦も餘程進歩しやがて家政に携はる場合など非常に裨益することになりますそれから近頃流行して來たホーリング鈴なども面白いものでせう

鬼に角女子の運動は唯に體育獎勵といふ點ばかりでなく家事に携はる際に活用し得る方法をも考へて頂たいと思ふ』

此の頃の衛生

▼胃腸を痛める季節

秋になると誰でも食慾が盛んになり殊に子供は果物が多い季節なので手當り次第食た爲めに胃腸を損ねる事が多いのであります、食慾が進むといふのは胃液の分泌が盛んになるので胃が幾らでも食物を欲しがるわけなのですが、夏の間は消化力が非常に衰へてゐる胃袋が弱つて來た所へ急に食物を

◇詰め込 む爲遂に胃腸を痛めるのでこれから子供の胃腸病が非常に流行するのです、それに段々冷氣が加はり夜間不注意の爲め寢冷を引込みやすく胃腸を痛めた所へ寢冷に罹ると必ず腸チブスとか赤痢とかいふやうな恐ろしい傳染性の病氣を惹起しやすいのですですから子供の爲に秋の衛生には先づ夜分寢冷をせぬ様に寢卷の下には更にフランネルの布で

◇下腹部 を卷くとか寢冷を防ぐやうにし又食物は三度の食事には多少度を過ごしても間食をさせぬ様にすれば宜しいのです、又果物も林檎とか梨とか葡萄などの種類の果汁だけ吸はせる如にしたいものです柿の様に果肉が纖維性のものは子供の胃腸の爲に宜しくありませんバナナも腐敗しやすいのですからなるべく子供に與へない方が宜しう御座います

◇乳兒等 も泣く度に乳を欲しがるものとして矢鱈に乳を與へるのは考へ物で普通三時間半隔に五分間位宛呑ませるやうにすれば最も安心で乳兒の健康の爲には宜しう御座います

各種和洋菓子類 衛生ボーロ、ウバ玉、茶菓子、不老草菓子、キウリ、豆煎餅
御菓子卸商 京城義州通一丁目六四 永圃製菓所 主任 金鎭秀

朝鮮衛生府內 御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

南大門素通り　非出台水

草刈つた草に草の實が房々と
野菊見て居てなま返事しつゝ
何の爲の衛兵か桑がうれてる
夏帶の女よく凝る煙草のきざみ
あの札買の居る夏帶の女下行て
停車時間外套など出すひまに
─十月五日─

新刊紹介（到着順）

▲記念寫眞帖（採木公司十年記念）鴨綠江採木公司十週年記念りため發行せ

▲新公論（十月號）秋の讀みものとして適當なる硬軟兩様の趣味ある記事揃ひて五十錢、東京麹町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部

▲我が家（十月號）五錢、東京麹町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部

▲日本養蜂雜誌（十月號）八錢、名古屋東區〔?〕町三ノ五日本養蜂雜誌社

▲經濟資料（一〇號）二十五錢東京麹町區有樂町一の一東亞經濟調査局

▲趣味の友（十月號）三十錢東京麻布區笄町一八〇趣味之友社

▲調査資料 南滿洲鐵道株式會社

▲米佛の胡桃栽培業 五十五錢滋賀縣長濱町日本殺菜園藝社

▲四鄭鐵路工程紀略 非賣品、支那交通部內四鄭鐵路工程局

▲刀の研究（九）二十五錢東京下谷區茅町二の三南人社

▲大陸（十月號）三十錢、大連磐城町十八號地大陸社

▲新方十二箇月 八月卷 二十二錢東京牛込區白銀町二〇育英書院

▲人文（二〇）十六錢東京小石川區内山御殿町一一七啓明會事務所

▲宗報 九月號 五錢京都島丸通七條上る大谷派本願寺寺務所內

▲東亞之光（上）二十六錢東京小石川區原町七十八東亞協會

▲鑛業通信（九）二十錢東京本郷區湯島天神町一鑛業通信社

▲ゴム新報（九月號）十五錢東京神田區錦町ゴム新報社

▲特許（七）二十五錢 東京芝區櫻田町十七特許社

▲東洋皮革新誌（九）十錢大阪東區淡路町二の七七東洋皮革新誌社

▲國語教育（一〇）二十五錢東京小石川區音羽町二〇育英書院

▲東洋時報（九）五十錢東京麹町區內山下町一の一東洋協會

▲商業之日本（九）三十錢東京本郷區湯島天神町一の九商業之日本社

▲一大帝國（一〇）十六錢、東京京橋區南金六町三二一大帝國社

▲實業之世界 一〇 十八錢 東京京橋區南金六町一の四實業之世界社

▲大阪銀行通信錄（九）三十錢大阪北區中之島一二九大阪銀行集會所

▲愛知縣商品陳列館報告 九月號 五、名古屋市中區愛知縣商品陳列館

▲自由評論（十月號）二十錢東京赤坂區田町七の一三自由評論社

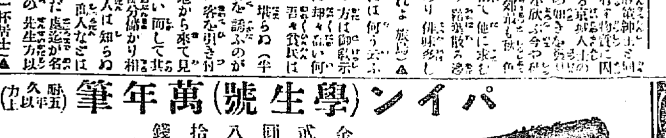
▲ジャパンタイムス學生號 十月號 十四錢東京麹町區內幸町一の四ジャパンタイムス學生號出版所

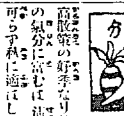
▲獨立公論（八月號）十仙布哇ホノルル市マウナケアブロック三〇號獨立公論社

讀者の領分

◇余は敢て策御主と同じく因襲的趣味を有す物質に因まれたる京城人士の中に君の如きが有るのを（中）したるを欣ぶ今や秋も高敞策の好季なり然るに近郊も秋色の氣分に富むは清涼里を措いて他に求む可らず秋に適し茶寮あり遊覽散策にも金波洞ふ邊に砂礫の池あり俳味多し一度秋な訪ねて貰ひたいよ（旅鳥）▲隊舞に眩し光澤な出すには何う云ふ方法がありますか御存知の方は御教示な乞ふ（番頭藏）▲米は未だ却々高い何時頃が來れば安くなるのか吾々貧民は寒さに向ふと共に心細くて堪らぬ（半食生）▲京城の商人は客を誘ふのが下手だ此の散歩の好時季に客を引き付ける方法を知らぬ吾々内地から來て見ると實に秋色の好い處も多い而して其秋色な看板に客を引けば隨分儲かり相な店もあるのに京城の商人は知らぬ顏をして居る東京や大阪の商人などは秋色紹介が上手だから飛んだ處迄が名所になり商人は儲かる京城の先生方以て如何とするか（新米の一杯居士）▲電報が汽車より近く電話が人力車より遲い世の中だから不可は京城人か郵便局なして近日往來の防街も當け前とはなさけない（無線電話）

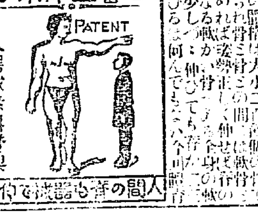
パイソン(學生號)萬年筆 (耐久五年以上)
金貳圓八拾錢 送料 鮮內無料 外三十錢
京城太平通電話構內十八番
發賣元 京城日報代理部
振替京城三〇〇番





優賞品 贈答品 記念品 金屬 貴金屬 時計類 裝身具 金側時計類 益々豐富に 種々取揃ひ 申し候
京城本町一丁目 平井時計舖 電話二〇〇番 振替京城一二八六一

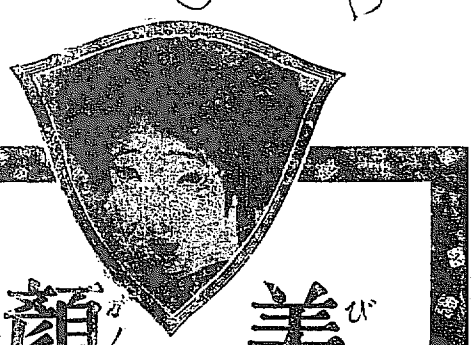
名醫金牌有功 ◎小男も大男となる

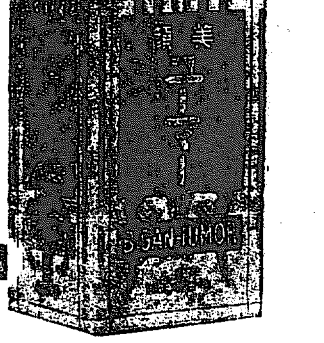


人間の體格は大小二百餘個の骨と骨との間に繊維の軟骨あり此の軟骨を伸ばせば身長が高くなる……
▲器械無料貸與 ハガキで申込み次第說明書を呈す 東京市京橋區入船町 器械療法所

中風病 全快謝告
余は元大阪府議員なりしが數年前中風に罹り ……奇効を得て全快せり…… 大阪市東區 ……

桃谷研究試驗所創製
美顏ユーマー
光榮ある御化粧料三十六種の內





第一回の使用
ユーマーを唯の一度お用ひになるだけでも、其の一日の顏色の美しさ、氣持の好さは何とも申されません。ユーマーのこの作用は、どなたにもよく分り、そしてお氣に召されます。

二回、三回、四回
度重なるにつれユーマーは彌々巧妙の作用を現します。皮膚が軟やかに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持のよい、鮮かな美しい顏色は、誠に美しさの頂上で御座います。

化粧下と荒れ止
この外にも、ユーマーが化粧下としても此上なく好い事、及び荒れを防ぐ効用と日燒けを防ぐ効用の優れてゐる事はお用ひになつた方々の御承知の事で御座います。ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります。

美顏ユーマーを常用すれば
皮膚營養分と美容料との作用により
◇顏色が大層綺麗になります……
◇キメが細かになります……
◇冬でも皮膚が荒れません……
◇顏を老けさせる皺を防ぎます……
◇皮膚が軟やかに美しくなります……
◇日燒を防ぎます……
◇剃刀カブレを防ぎます……
◇白粉下に使へば白粉が誠に氣持よく美しく附きます……
◇斯くして顏が綺麗に美しくなります

◎金銀減産傾向

生產不足影響

▲將來の趨勢 は明白

戰に關する諸般の事實は未だ明白ならず其勞力の能率思はしからず採掘に要する化學製品、材木其他の價格騰貴し爲に金の生產額は減少すべく此不利なる境遇に在る業者は今や益々悲境に陷りつゝあり……

▲富業者は廢業 すべく……きの趨勢にありしが金の輸出禁止撤廢するの計畫を樹て之を實施せる後に於ても……

▲依然銀は高値 を維持し……探掘業者は銀に對し從前よりも多分の金を要求し以て值段を引上げ……

▲益々需給不足 を告ぐ……する逆調を緩和し金銀の需要を節減し……

此欄は讀者投稿ですから……